

資 料 編

資料１．懇話会・分科会の開催概要

（１）懇話会

「奈良町の町並み保存のあり方を考える懇話会」は５回開催し、これまでの景観保存整備事業の効果検証を行うとともに、同検証結果の「新奈良町にぎわい構想」への反映方法や構想の内容についての検討を行いました。

「奈良町の町並み保存のあり方を考える懇話会」の開催概要

回	開催日	主な論点等	
		景観保存整備事業の効果検証	新奈良町にぎわい構想
第 1 回	平成 28 年 7 月 29 日	・ 建造物の修理・修景補助制度の効果検証の進め方（効果検証モデル地区の設定等）について ・ 修理・修景補助制度の利用者・非利用者に対するアンケート調査の実施方法について	・ 構想策定に向けた自治会長アンケート調査の実施方法について ・ 分科会における検討状況の報告
現地視察	平成 28 年 10 月 11 日 10 月 12 日	・ 効果検証モデル地区（中新屋町、鵜町、毘沙門町、公納堂町）における修理・修景補助事業等の成果と課題の把握	
第 2 回	平成 28 年 10 月 21 日	・ 現地視察を踏まえた修理・修景補助制度の成果と課題の共有 ・ 今後の修理・修景補助制度ならびに景観誘導手法のあり方について	・ 分科会における検討状況を踏まえた構想策定にあたっての必要な視点について
第 3 回	平成 28 年 11 月 25 日	・ 修理・修景補助制度の改訂（案）ならびに制度の詳細内容について	・ 「新奈良町にぎわい構想（修正素案）」について（パブリックコメントの実施承認）
		・ 懇話会提言（骨子案）について	
第 4 回	平成 28 年 12 月 26 日	－	・ 「新奈良町にぎわい構想（修正素案）」について（パブリックコメントの実施承認）
第 5 回	平成 29 年 2 月 13 日	・ 修理・修景補助制度の改訂（案）について → 改訂（案）の確定	・ 「新奈良町にぎわい構想（修正素案）」について、パブリックコメントへの対応 → 構想（案）の確定

（２）分科会

「きたまち分科会」は７回、「ならまち分科会」は６回開催し、各地域における「定住」、「観光」、「経済」、「歴史・文化」の現状と課題の整理ならびに今後のまちづくりにあたっての必要な視点等についての検討を行いました。

「きたまち分科会」の開催概要

回	開催日	参加者数	主な論点等
第１回	平成 28 年 5 月 29 日	18 名	・市素案に対するパブリックコメントへの対応について ・分科会の位置づけ、進め方等について
第２回	平成 28 年 7 月 3 日	23 名	
第３回	平成 28 年 8 月 28 日	17 名	・「定住」をテーマとした現状と課題、今後のまちづくりのあり方についての意見交換
第４回	平成 28 年 9 月 25 日	16 名	・「観光」、「経済」をテーマとした現状と課題、今後のまちづくりのあり方についての意見交換
第５回	平成 28 年 10 月 23 日	13 名	・「歴史・文化」をテーマとした現状と課題、今後のまちづくりのあり方についての意見交換
第６回	平成 28 年 12 月 4 日	14 名	・「新奈良町にぎわい構想（修正案）」に対する意見交換
第７回	平成 29 年 1 月 22 日	15 名	・今後の進め方について

「ならまち分科会」の開催概要

回	開催日	参加者数	主な論点等
第１回	平成 28 年 6 月 16 日	21 名	・市素案に対するパブリックコメントへの対応について ・分科会の位置づけ、進め方等について
第２回	平成 28 年 7 月 20 日	22 名	
第３回	平成 28 年 8 月 31 日	8 名	・「ならまち賑わい構想（旧構想）」の検証について ・「新奈良町にぎわい構想」に必要な視点について
第４回	平成 28 年 9 月 28 日	15 名	・「定住」「観光」「経済」をテーマとした現状と課題、今後のまちづくりのあり方についての意見交換
第５回	平成 28 年 10 月 26 日	16 名	・「定住」「歴史・文化」をテーマとした現状と課題、今後のまちづくりのあり方についての意見交換
第６回	平成 28 年 11 月 30 日	9 名	・「新奈良町にぎわい構想（修正案）」に対する意見交換

資料 2. 景観保存整備事業の効果検証のためのアンケート調査について

(1) 修理・修景補助制度の利用者アンケート調査

- ・調査対象：昭和 63 年度から平成 27 年度までの間に「奈良町都市景観形成地区建造物保存整備費補助金」及び「ならまち町家建物内部改修モデル事業補助金」を交付した建造物の交付申請者
- ・調査方法：郵送配布・郵送回収を基本とする
- ・調査期間：平成 28 年 10 月 17 日から平成 28 年 11 月 10 日まで
- ・配布数・回収数・回収率：

	配布数	回収数	回収率
調査 1（外部のみ）	1 9 2	1 1 6	6 0 . 4 %
調査 2（外部+内部）	2 6	1 9	7 3 . 1 %
全体	2 1 8	1 3 5	6 1 . 9 %

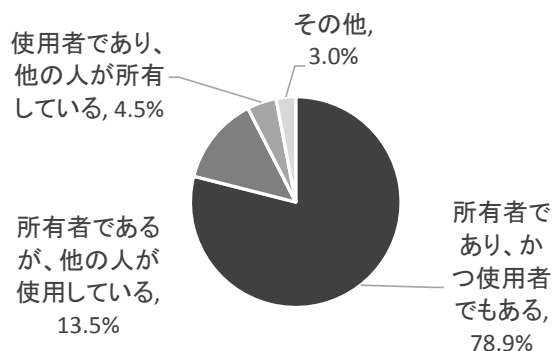
■ 調査 1・調査 2（共通設問）

① 所有・使用関係

設 問 1 あなたとこの建物の関係をお教えてください。

【 母数:135 】【 回答数:133 】

- ・「所有者であり、かつ使用者でもある」が 8 割弱（105 名）と大半を占めている。

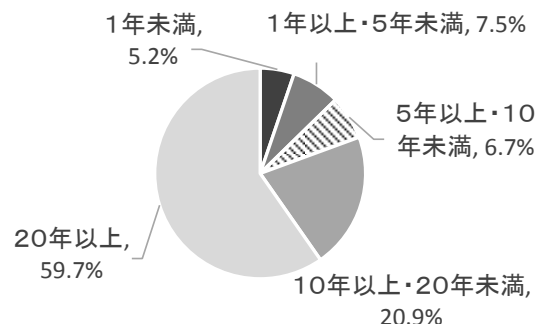


② 居住・使用年数

設 問 2 あなたは、どのくらいの期間、この建物でお住まい（ご使用）ですか。

【 母数:135 】【 回答数:134 】

- ・居住・使用年数が、20 年以上が 6 割弱、10 年以上・20 年未満が 2 割強と多く、居住・使用年数 10 年以上が全体の約 8 割を占める。

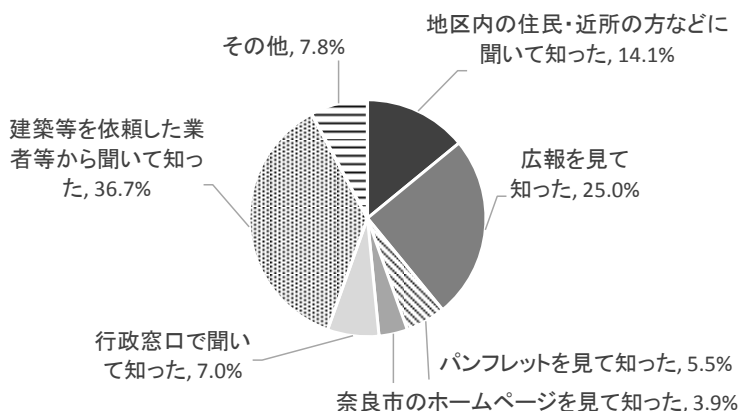


③ 修理・修景補助制度の認知の媒体

設問 3 あなたは、修理・修景補助制度を何で知りましたか。

【母数:135】【回答数:128】

- ・建築等を依頼した業者等から聞いて知った人が36.7%と最も多く、広報を見て知った人が25.0%と続いている。

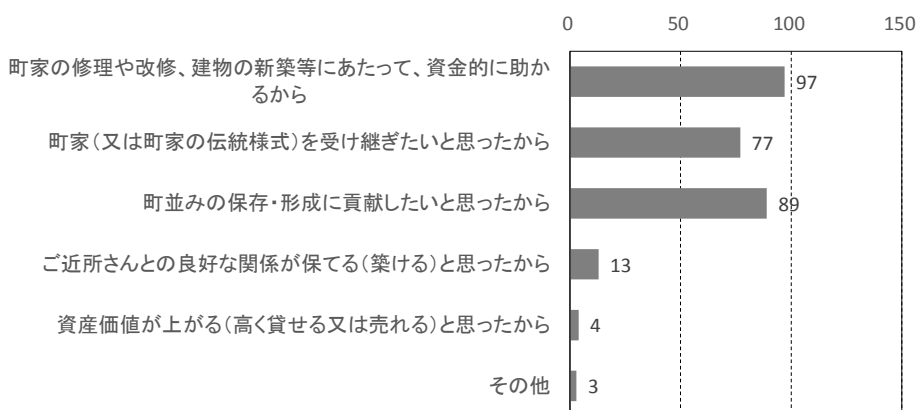


④ 修理・修景補助制度の利用のきっかけ

設問 4 あなたが修理・修景補助制度を利用しようと思ったきっかけは何ですか。(複数回答)

【母数:135】【回答数:130】

- ・補助制度の利用のきっかけでは、資金面だけでなく、町家の伝統様式の継承や町並み保存・形成への貢献意識が強くみられたことがうかがえる。

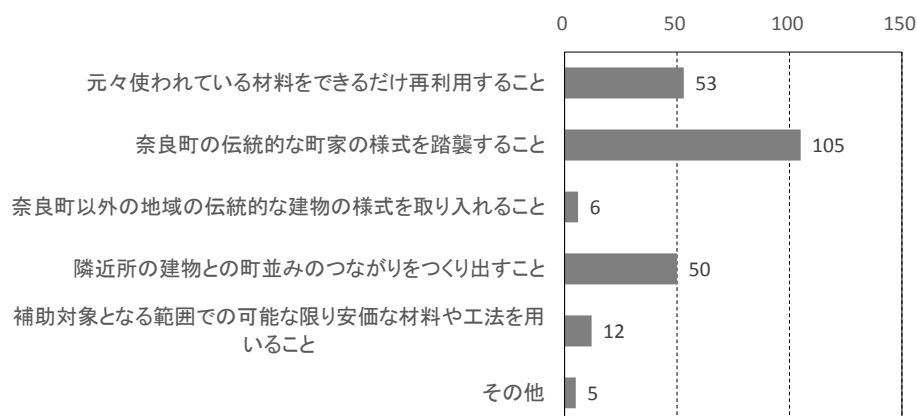


⑤ 修理・修景にあたっての配慮事項

設問 5 あなたは、この建物を修理・修景する際に、どのような点に配慮しましたか。(複数回答)

【母数:135】【回答数:131】

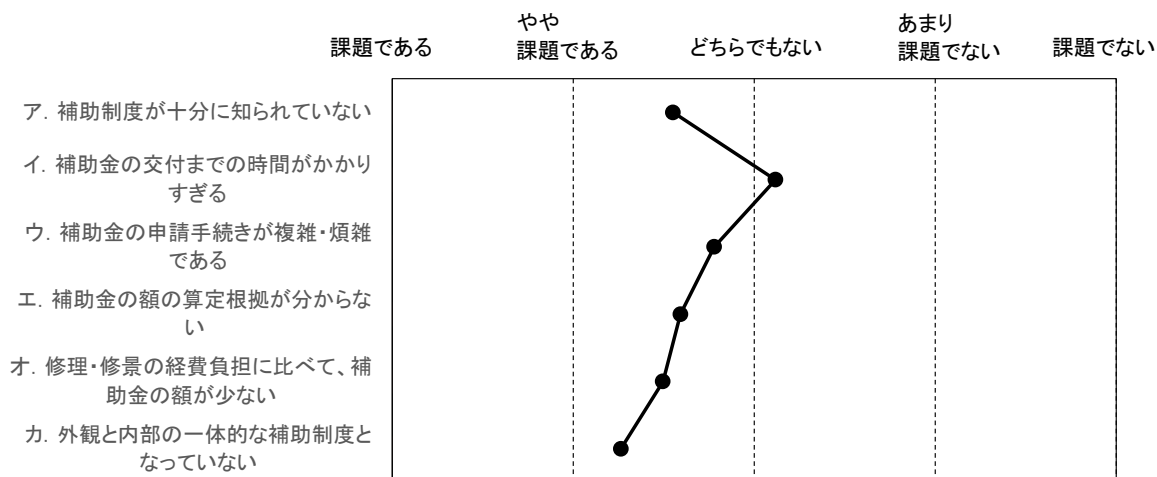
- ・修理・修景にあたっての配慮事項では、奈良町の伝統的な町家の様式の踏襲が突出して多く、古材の利用、周辺の町並みへの配慮が続いている。



⑥ 修理・修景補助制度の課題

設問 6 あなたは、修理・修景補助制度について、どのような課題があると感じましたか。

【母数:135】【回答数…ア:116、イ:111、ウ:113、エ:113、オ:113、カ:114】



・内部改修との一体的な補助となっていないことが課題であるという回答が多くみられた。

※ 各課題の詳細内容ならびにその他の課題の内容

※ 括弧内は同一意見の件数

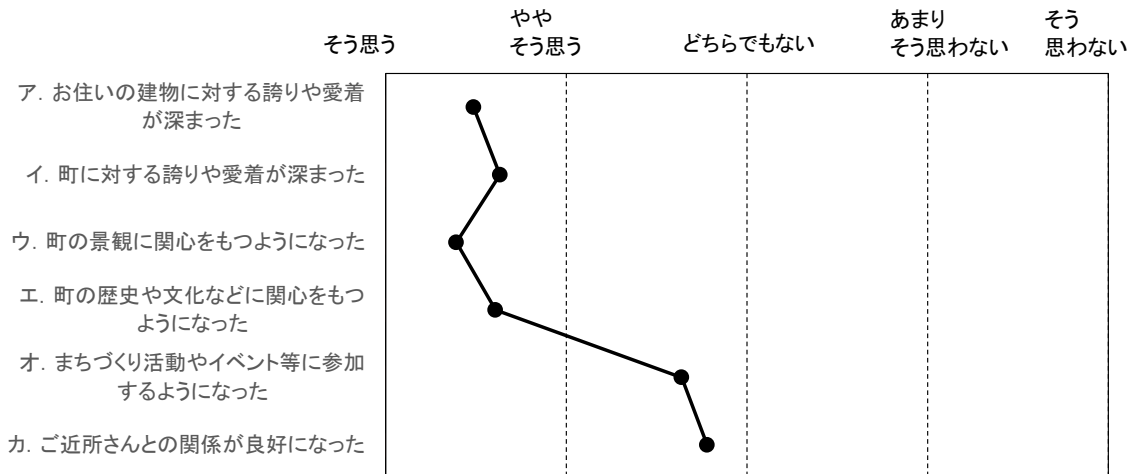
項目	課題の内容
ア. 補助制度が十分に知られていない	・補助制度をより一層アピールしてほしい。 ・自己申請だけでなく、景観上問題のある家屋については、市から補助制度の利用を勧めてはどうか。
イ. 補助金の交付までの時間がかかりすぎる	・補助前提で資金計画を立てるので、事前に「最終的に計画通りであれば交付する」と確定していれば心理的負担が軽減する。 ・時間がかかることは問題ではなかった。
ウ. 補助金の申請手続きが複雑・煩雑である	・年度内の完成という制約があるので、年度をまたがないように工期を調整しなければならない。 ・工務店に任せただけで煩雑ではなかった。(5)
エ. 補助金の額の算定根拠が分からない	・制度の適用条件に希望が合わない場合、補助を受けず建築を行うことで、景観にそぐわない建物が増えるのではないかと。 ・接道面の寸法で算出するので、奥行きのある建物では不利。 ・新築の方が少なく、改築の方が、補助率が高い理由がわからない。 ・工務店に任せた。
オ. 修理・修景の経費負担に比べて、補助金の額が少ない	・補助制度を使っても、自己負担が大きく修理できない場合もある。 ・かなりの部分を出してもらったので問題なし。
カ. 外観と内部の一体的な補助制度となっていない	・内装も含めた補助制度にすべき。 ・小舞、土壁、漆喰、中庭、土間等の町家の様式は適用外なので、伝統的な町家を受け継ぐのは難しい。 ・長く住むために、暖かさ、涼しさ、明るさ、バリアフリー等の快適性を担保する修理等への補助も必要ではないかと。 ・シロアリ対策など内部の修理も補助対象にすべき。 ・外観だけの規制では、内部にも影響するので設計が難しい。 ・内部補助と修景補助が別々でわかりにくい。 ・内部まで市が費用の補助する必要はない。
その他	・制度を利用してよかった ・良い事業者を選ぶのに苦労した。事例集等があれば参考になった。 ・町家が面的に残るならば、この制度は重要だが、今の旧市内に点として残す必要はない。 ・古い町家を築50年以上に定義すべき。 ・当初の構造を残してほしい。 ・耐震についても相談したい。 ・改修結果に不満、出費も増えた。 ・申請が先着順なのは不公平である。 ・ずいぶん昔のことなので覚えていない。

⑦ 修理・修景補助制度を利用したことによる気持ちの変化

設 問 7

修理・修景補助制度を利用したことによって、あなた自身、建物や町などに対して、どのような気持ちの変化があったと思いますか。

【 母数:135 】 【 回答数…ア:119、イ:120、ウ:120、エ:120、オ:119、カ:118 】



- ・修理・修景補助制度の利用は、町の景観や歴史・文化への関心、建物や町に対する誇りや愛着の高まりにつながっている。しかし、まちづくり活動やイベント等への参加等の具体的な行動にまでは至っていないことがうかがえる。

※ 各変化の詳細内容ならびにその他の変化の内容

※ 括弧内は同一意見の件数

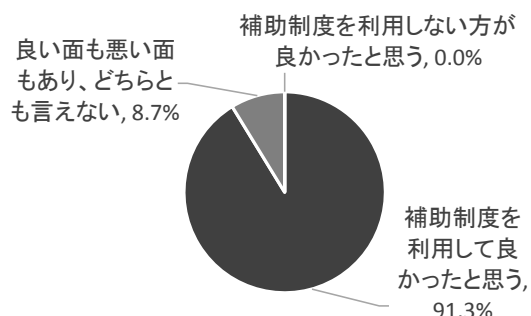
項目	気持ちの変化の内容
ア. お住いの建物に対する誇りや愛着が深まった	・観光客が写真を撮るなど、奈良町の景観保存に貢献できた。 ・気持ちが落ち着く。
イ. 町に対する誇りや愛着が深まった	・行政は町並み保存に、より積極的に取組んでほしい。
カ. ご近所さんとの関係が良好になった	・集会所でのイベント開催を通じて、町内のコミュニケーションが活発化した。 ・町内が良い関係になった。
その他	・建物や町への愛着、景観や活動への関心は元々あるので、気持ちの変化はない。(3) ・長年住んでいるから、町の景観などはあまり変えてほしくない。 ・若者は、町家の日当たりや部屋配置などに不満があり、継承されるか不安。 ・町家に統一感がない。 ・長野県高山のように、景観を阻害する建物の新築は規制すべき。 ・市の指導を受けて新築したはずの隣家のために、壁等補修が必要となり、非常に不満である。 ・改修しても不具合が残り、外屋のメンテナンスも費用が掛かる。 ・外国人観光客のマナーが悪い。

⑧ 修理・修景補助制度の利用についての総評

設 問 8 あなたは、建造物の修理・修景補助制度を利用して、良かったと思いますか。

【 母数:135 】 【 回答数:126 】

- ・利用して良かったという人が9割以上を占め、利用しない方が良かったという人はおらず、補助制度の利用者は、補助制度の評価が高いことがうかがえる。



※ 回答の理由

※ 括弧内は同一意見の件数

区分	記述内容
町並みの形成に寄与できて誇らしい、町に興味を持てるようになった等 (30件)	・奈良町風に近づいたので、大分良くなった。補助制度を利用して有り難かった。 ・歴史的建造物を後世に残せたため。 ・町中の新築、改築物件に関心を持ってきている。 ・開けていても外から見えない町家の良さがある（連子格子）。 ・白壁の塗り替えを依頼した業者から、補助制度のことを聞いて初めて申請した。親の代でも一度塗り替え補修をしているが、年月で30%位黒く変色していたのが真っ白になったので、通りの美観もよくなったと満足している。 ・町並みがきれいになったと思う。 ・建て替えだったので、町並みの調和は考えた。 ・格子造りにして町並みが良くなったと思う。 ・町並みの形成に寄与できたうえに、住みやすくなった。 ・ユネスコやJICAの研修生に見せる（中に入らせる）と、すごく喜んでくれた。 ・町並み形成に、より積極的になれた。 ・私の住んでいる町は古い家が多いので、町内全体のバランスが大変よくなった。 ・そのままの状態の家がリフレッシュし、街にとっても家にとっても良い。 ・補助してもらうのだからと、より景観などに配慮する気持ちが強くなり、その結果、ならまちの保存に役買っているという自負も持つことができた。 ・町並み形成に寄与した点や、店舗として入っている入居者がならまちで喜んで活動し、観光客が喜んでいて。 ・近代的な家が増えているが、町家建築、本来の日本人がほっとできる住空間を残したいから、制度を利用してよかった。 ・町並みの維持に役立ったと思っている。町に人気が出て、集客力が高まっているのは活気があってよいことだと思う。 ・昔のままで保存ができること。 ・瓦屋根は町並みにとても合い、景観形成に寄与していると思う。 ・奈良町の景観を残すことができたし、補助制度を利用して資金面で助かったから。 ・奈良町南案内所と鹿の舟と並んで、景観が良いのではないかなと思う。 ・町並みの形成が良くなり、観光客、写真を撮る人が多い。 ・奈良町らしい家に修復できた。伝統の町並みに寄与できるとともに、故郷の町形成に参画できて誇らしい。 ・資金不足だったが補助制度で助かった。この建物は角地にあり、両面が目立つようになって良かったと思う。 ・町家を伝統工法のまま修復しようと思うきっかけになった。町家は多くの人が良いと思っているが、修復するのにコスト面で二の足を踏んでいると思う。それを押し進めるために、この補助制度はとても良い。 ・希望通りの奈良町家を建てることができた。 ・危険な建物が再生し、内容的にも活性化して、特徴的な町並みを形成しつつあるように思う。 ・シャッターは家の中まで暗いが、格子は光が入るので良かった。内部の様子が見えるので気を使うことはある。 ・落ち着いた伝統建築になり、訪れた人達にも外観、内装ともに感心してもらえる半面、条件が結構厳しく、最初の予定よりも容積が減り、その分を補うための創意工夫を内装にしたため、当初の費用を大幅に上回った。その結果、補助を受けなかった方が費用的には安価であった。しかし熟考を重ねた結果、愛着が深まったのも確かであった。 ・家全体が落ち着いた雰囲気になった。 ・町の歴史文化を残すことができた。

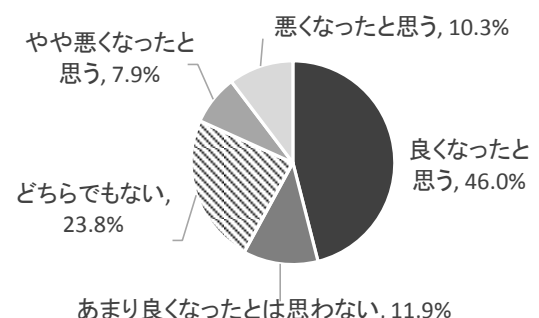
区分	記述内容
資金面で助かった (21 件)	・資金面で助かった。(7) ・今後も修理修復に役立たせてほしい。 ・古くなった家が、補助制度のおかげできれいになり、助かった。 ・修復費用が軽減された。 ・収入の少ない(檀家の少ない)寺においては、補助制度は大変ありがたく助かった。 ・少しでも資金援助を受け、経済的に助かった。 ・リフォーム費用が助かった。町家が復活できた。 ・個人でできる範囲は制限があるので、補助していただけるとより良い改修になったと思う。 ・屋根の葺き替え、表格子等の工事を補助制度でやっていただき、安心して生活している。 ・もともと景観に合う家を建てるつもりだったので、補助してもらえて助かった。 ・建築予算の抑制となり、助かった。 ・当初の改修予算から大幅に増加したので、補助制度を利用してよかった。 ・古い家のため、今後耐震を兼ねて土台・基礎からやり直すととても費用が掛かるので、補助制度を受けられて助かった。屋根も土を落として元の瓦で葺き替えることもできた。ただ、奈良町は古い家が多いので、大きな地震が来たときに心配である。 ・資金の援助を受けさせていただいたことにより、自己資金だけでは不可能な、奈良町の景観に合った建物を再現でき、大変有難く思っている。(2) ・どちらにしても町並み形成に適した家をとっていたので、補助制度を利用した方が良いと工務店に進められて、利用した。
安心・安全の確保、快適性の確保について (6 件)	・借家の修理にこの制度を利用した。耐震工事をしたために、これから使っていただくに当たり安心できるようになった。 ・古民家再生のプロ、建築士、工務店の力を借りて、建物のゆがみの修正や耐震対策をしていただけた。冬の寒さがネックだった古い家も、建てつけの補修や断熱材のおかげで住みやすくなった。 ・家の前の道は、歩道・車道の別がなく、車が一台通れるくらいの道だったので情緒もあり、表屋作りの家も多く、一変してしまった。建て替えられた家が多く、奈良町大通りができてから交通量が増え、騒音も増え、前の家の時にレベルを調べてもらったが、大きな車が通る際には揺れもきつかった。今は基礎を立ち上げてもらったので騒音くらいであるが、この家を子どもに引き継ぎたいので、改修してよかったと思っている。 ・掃除に手間がかかる。 ・修理に踏ん切りがついた。大切な税金を使うため、必要最小で効果が出るようにと気を付けた。しかし本来の目的は住むに堪えうる家屋の修理が一番で、修復は自ずとついてきた感じである。 ・時に観光客が立ち止まって家の前にいたり、写真を撮ったりしているときがあるのは、迷惑に思う時がある。
制度への不満 (2 件)	・駐車場を確保するために莫大な資金を投じたが、景観保全に寄与した割には、補助金はほんのわずかであった。 ・一部分だけの補助で利用したため、他の部分も改修しなければならなくなり、かえって高くなった。補填してほしかった。固定資産税も高くなった。
その他 (2 件)	・補助金がなければ今の家は断念せざるを得なかった。誰かによってハウスメーカーの建物が建てられていたことを考えると良かったのかもしれない。しかし公金を利用したことは、あまりよくなかった。自分の力だけでできるに越したことはないと思う。 ・修理業者がなかなか見つからなかったのを、市がやってくれた。

⑨ 通りの景観の総評

設 問 9 あなたは、この建物が位置する通りの景観は、10～20 年ほど前に比べて良くなったと思いますか。

【 母数:135 】 【 回答数:126 】

・「良くなったと思う」と回答した人が 46.0% と多い。



※ 回答の理由

※ 括弧内は同一意見の件数

区分	記述内容
歴史的な町並みが良好に残されているため (15 件)	・町並みが美しくなった。 ・町並みが元の景観を大きく変えず残されている。 ・近隣のお宅も、できるだけ美しい外観を維持されているため、美しいと思う。 ・同じ業者の推薦で、隣近所が一斉に手入れしたので、町並み全体がきれいになった。 ・歴史的な町並みの保存とうまく共存する形で、新しい建物や道路わきの彫刻なども設置され、調和している。 ・奈良町のイメージの良さが、さらに強くなった。 ・町内には格子の家が六軒あり、奈良町の景観が良くなった。 ・町並み保存に役立っている。 ・老朽化した空き家がなくなり、奈良町の町並みに調和した景観になった。道行く人々の評判も良い。治安面でも改善された。 ・以前は、出格子、意匠のない風呂屋や危険家屋があったが、この 3～4 年で雰囲気が良くなった。 ・それぞれの建物の所有者が、建て替え、修理の際に景観に気を使っている。 ・高さ制限などがあり、マンションが建たないこと。 ・少し景観が良くなった。 ・観光地化されたことで美観意識が高くなった。 ・先代が残された家を、できるだけ残したいと思っている。 ・調和しない建物もあるが、おおむね良好な町並みと思う。
観光客の増加等で活気がでてきた (6 件)	・歴史的な町並みを保ちながら、若者や観光客が多く集まる街に変化してきた。 ・町並みが保存され、観光客が増加したため。 ・奈良町が取り上げられ、ブームになっているため、新店も増え賑やかになった。 ・にぎやかになって活気が出た。 ・小さな店がたくさんできて、観光客が増えてにぎやかになった。 ・商店に活気がある。
歴史的な町並みに調和しない建物が増えた (15 件)	・歴史的な町並みがやや良好に残されている反面、町並みに調和しない建物が少しずつ増えてきた。 ・修景し良好な建物もあるが、まったく景観にそぐわない建物も増えてきている。 ・歴史的な町並みに調和しない建物が増えたため。 ・歴史的町並みに調和しない建物が増えてきた。新築、改築の際、市として積極的に景観にあうように指導及びお願いをすべき。 ・古い町並みは残っているが、町全体として統一感がない。 ・20 年前と比較すると、新建材の家も建ち、町並み自体が本来の意図された状態になっていない。 ・景観を意識しない住宅もあり、統一性がない。 ・建物の様式がバラバラのままである。 ・新築されるのは現代的な家であるため、町並みや軒並みがそろわずに中途半端である。 ・店舗などは町家を意識した建物が多いが、住宅に関しては近代的な「ならまち」にふさわしくないものが多く、統一性のない町並みであることに変わらないから。 ・町並み全体で同じような形態でないと、良い町並みになったとは思えない。同じ町内で現代仕様の家では、値打ちがなくなる。特に住む人が高齢化して、若者が住まなくなってきており、町内での調和がとれなくなり、維持するのが難しい。店を作っても儲けばかりに走り、悪ければ撤退して寂れてしまう。 ・木材の使用量が少ない感じ。シャッター等の放置が無神経である。街灯、内灯の設置をなおざりにしている。しっとりとした街灯を考えていただきたい。 ・新しく住み始めた人の中には、周りの景観には興味がなく、びっくりするような建物や変なアパートが増えている。 ・前の道も、石畳がアスファルトになり、トタンが張られて町並みに調和しない建物が増えた。 ・集合住宅が増えた。光を外に向けて各戸にとりつけているため、夜でも正面が明るすぎる。自宅の内部にまで光が差し込む。北向きの家が並んで調和がとれていたが、集合住宅が東向きのため覗かれているようで、非常に迷惑している。
より厳しい規制が必要である (5 件)	・良くなったが、行政として廃屋の立て直しや周囲の景観にそぐわない建物（メーカーの建物）を建てさせない指導が必要と考える。 ・伝統的な意匠に配慮し修景する建物があるが、切妻、平入、接道の町家の建て方を無視し、前面にカーポートを設け、セットバックする建物も増えている。町並みは線から点になりつつある。 ・昭和 63 年度の補助金条件には種々の制限があった。最近では新築でも補助されており、当初の趣旨がわからなくなっている。最近、近隣の新築は建築基準法さえ許可されれば何でも OK と思われる。箱型等のプレハブや特異な形アパートなどが多く新築されており、景観はどうなったのか。 ・町家の構造、建物の配置は隣接する宅地との関係で成立すると思う。隣地に 3 階建てがあると、本来日が当たるように考えられていた中庭や裏庭に日が差し込まなくなってしまい、冬季など我が家だけ氷や雪が溶けないことがよくある。世界遺産のバッファゾーンでもあり、2 階建てに規制するなど、厳しい制限を加えても良いと思う。ユネスコの研修生を案内すると「どうしてこんなマンションやアパートが建つのか」という質問を受ける。 ・近所に建築された家は、芝居の舞台で見えるような簡単な和風の板塀、それも 2～3 か月で除去されてカーポートになった。また、前面にカーポート、奥に洋風の家が建つ敷地もあり、現在どんな指導をしているのかと疑問に感じる。古い家など、主張するものがなく、各戸がまちまちで調和がとれていない。きれいに統一のとれた町ならば、愛着、誇りもわくだろうが。

区分	記述内容
空き家・空き地・駐車場等が増えた (14 件)	・ 空き家、空き地、駐車場が増えた。(2) ・ 駐車場が増えて、町並みがそろっていない。部分的に町家風にしても良い景観とは思えない。 ・ 建て替えも一部あるが、空き家・更地(駐車場)が増加している。 ・ 駐車場が多くなり、残念に思っている。町並みを保つように市も力を入れてほしい。 ・ 駐車場が増えて町並みが変わり、人の流れも少なくなった。 ・ 約 10 年前に比べ、町家建物が減少、その跡地が駐車場になり、景観の悪さがみられるため。 ・ 観光客が年々増加して、他府県の車が多く、渋滞する。空き家だった場所に派手な看板のコインパーキングができた。 ・ 約 10 年前に比べ、町家建物が減少し、その跡地がすべて駐車場に変化した。 ・ 補助を受ける有無は判らないが、きれいに建て替えられた家屋も増えたが、現在風な建築物も増え、その反面、古いままや空き家などがそのままのところもかえって目立つ。全体的に見て、15 年前と印象はあまり変わらないと感じる。 ・ もともと古い町並みのため、空き家が多くなり、景観が良くならない。 ・ すっきりとしてきれいになったとは思いが、一人暮らしの人や空き家の活用がどうなるのか心配である。 ・ 町並みに溶け込まない看板や、24 時間利用のパーキングが町家のすぐ隣に位置するというのが不思議である。パーキング設置の規制そのものは困難でも、せめて外観的に調和しないと感じさせないような気遣いがあったら良いのではと思う。奈良町の中心にパーキングがあるのもどうかと思う。 ・ 駐車場が増えたが、今の時代には必要であり、観光客を呼ぶためには仕方がない。
安心・安全の確保について (2 件)	・ 電線が入り乱れていて、車の通行量も多いので、歩き難い。景観に配慮した店舗が増えた。 ・ 奈良町全体の道路の整備状態が悪く、高齢者の歩行には不便である。 ・ ならまち大通りが町を分断して、景観が良くならなかった。伝統的町並みを考慮して、一通などで交通改善を図れば良かった。自動運転時代を見据えて、自動車を所有しない町並みに戻していければよい。
落ち着いた感じが欲しい (4 件)	・ 町並みは保たれているが、店が増えており、住居としての落ち着きがなくなっている。両立したバランスを希望する。 ・ 世界遺産の隣に隣接しているためか、歴史的な町並みが保たれているように思う。ただ、交通量が増えて騒々しくなったようにも思う。 ・ マナーの悪い外国人観光客が増え、静かな奈良町のムードが失われつつある。 ・ 古い建物が一軒無くなったこと。市の施設ができ、観光客が煩わしいほどに多い。入館無料はおかしい。公金でそれを支えているので、百円でもとるべき。公金を個人に充てると、人間が卑しくなってしまう。残念ながら、人間は金を出すことで、本当に入りたいかどうかを判断する。
普及啓発の必要性について (3 件)	・ 住民が、自分の家の価値がわからずに、どんどん壊して建て替えていくケースが多いように感じる。 ・ 代々受け継いできた古い住人たちは、町を愛しており、また便利に住んでいるので、なかなか簡単には変わらないと思う。若い世代が変わるときの取組み、なるべく景観を残すように啓蒙してほしい。 ・ 改修後に「奈良らしく、残そう」という発想を言われた。もっと早く言ってほしかった。建物が古くなってから、または改築後だったので、残念である。「奈良らしい」景観は残っていない。
その他 (5 件)	・ 奈良町の復興に伴い、徐々に奈良町らしい町並みに変化してきている。ただし景観と通行上の最大の問題点は、電柱問題と考える。景観形成のため、ぜひ電柱、電線の埋設・地中化に取り組んでいただきたい。 ・ 近所では駐車場等が増えて町並みも少しずつ変化してきている。一方でうどん屋やレストランバーなどの店ができ、人の出入りも多くなっている。外国人相手の店やバーもできてきているので、少々(治安について)不安な面も感じているが、上手に国際交流ができればよい。 ・ 安心、安全がなく、美しくないことに気付く人の数の差がわかる。 ・ 高畑町はまだまだ手つかずの部分があり、これからの課題とすべき地域と思っている。 ・ 10 年以上前は知らないが、ここ 10 年は変わっていない。

⑩ 自由意見（奈良町都市景観形成地区における景観形成全般について）

設 問 10 修理・修景補助制度を含め、奈良町都市景観形成地区における景観形成全般について、ご意見等ございましたら、ご自由にご記入ください。

【 母数:1358 】【 回答数:80 】

※ 自由記述内容の要点

※ 括弧内は同一意見の件数

区分	記述内容
良い取組みなので継続してほしい (17 件)	・とても良い制度である。 ・今後も積極的に進めてほしい。制度の拡大にも配慮いただきたい。 ・これからも修理・修景補助を継続してほしい。(4) ・都市計画と連動したものにしてほしい。 ・長い年月がかかるだろうが、確実に成果は上がっていくと信じている。 ・奈良町の景観を残すことはとても良いことである。長期にわたる計画であり、この取組みが続くように願う。奈良町は奈良に住む人たちの誇りであり、今でなければできないことである。 ・条例を強化し、予算を増加して、統一的な町並みにした方が、住民にとっても良き町となり、観光客にも喜んでもらえる良き観光スポットになり得ると思う。 ・統一性のある建物が並んでいる町並みのための制度とは思いますが、現状は近代的な住宅もあり、訪れる観光客に対するアピール度が低すぎる。そのため奈良町を訪れる観光客も 10 年ほど前から減少してきていると感じている。古い町並みを保護し、次世代に引き継いでいくための制度だから、すべての建物に対して制度並みの規制をして、町並みをつくるべきだと思う。 ・現在の風景が残されるよう、お願いしたい。 ・補助してもらい感謝している。今後も改修、修繕の時には景観に気遣って行っていきたい。 ・当時は忙しかったので白壁の塗り替えしかできなかったが、この制度が続いているのなら、老朽化した木造の表門を補修したい。 ・当家のシャッターが古くなり、奈良町に調和するように変更したいと思っている。今後の方向性を教えていただければ幸いである。 ・古い建物なので、毎年どこかに大規模修繕が出てきている。保存のためにも協力をお願いしたい。 ・予算がないなどとは言わず、もっと拡大してほしい。 ・予算をもっとつけてほしい。
制度を利用してよかった (5 件)	・通りに面し、空き家になっていた建物が制度利用により町並みに相応しく改修できた。それにより空き家となっていた奥の長屋部分も、町家バンクの力添えもあって、それぞれに活用されるようになった。活気も出てきて、奈良町のにぎわいの一助になれたことを良かったと思っている。 ・駐車場にして、現在は他県から定期的に帰ってきて管理している。私の記憶では門と庭が以前より重厚になり、奈良町により一層打ち解けた感があった。 ・助成内容が手厚く、使い勝手も良く、採択に改めて感謝する。幸い、良い方に貸すこともできた。 ・補助制度を利用してきて資金的に助かり感謝している。しっかりと家を守って、皆様に改修の良さについてお知らせしたいと考えている。 ・細かいことはわからないが利用してよかったと思っている。
より厳しい規制が必要である (9 件)	・制度を厳しくしてほしい。 ・建築基準法さえ許可されれば何でも OK なのか。町並みの存続、景観はできないと思われる。 ・奈良町に相応しいお店が増える一方で、駐車場なども増える、両面がある。相応しくない建物や駐車場などは条例で規制すべきである。 ・修理・修景補助制度は大いに推進していただきたい。次の世代のものが住み続けやすいようにするために、手を加えることが景観を守ることにつながる。奈良町の中でのみ、特別な土地利用の規制があっても良いと思う。 ・橿原市今井町ほどは嫌だが、建物に規制をかけても良いと思う。地区内の市街化調整で建てられない場所を特例で建てられるようにした方が良いと思う。 ・景観保全の目的の一つは、建造物の軒並保存と高さ制限にある。この目的を達成するために、景観保全地区内の違法な建物に警告を発し、修理・修景補助制度の活用を促してはどうか。 ・「補助金はいらないから好き勝手に建て替えたい」とでもいうように、景観形成地区の誘導ルールを無視している建物もある。建築の誘導ルールは補助金のための基準なのか。補助金が不要ならば無視できるものか。粘り強く誘導する仕組みが必要である。「中庭」が奈良町の住みやすい居住環境を守っている。「中庭」を守り、継承するためのルール作りを考えてほしい。 ・無秩序になってきているため、外観の補助よりも、規制に力を入れるべき。色、光、向きなどの規制が必要。 ・景観形成地区内を重点的に、調和しない建物が増えないように指導してほしい。修理、修復の時期になったら補助制度を利用したい。

区分	記述内容
制度の対象範囲の拡充や内容の充実が必要である (10 件)	・修理・修景補助制度の中身を充実して、もっと魅力ある制度にしてほしい。 ・景観だけでなく、建物全体に対して補助していただきたい。 ・ますますこの制度を拡充していただきたい。道路に面していない部分も補助してもらいたい。 ・内部の補助制度が廃止になったようだが、外部の補助制度を使う際に、合わせて内部でもできたらありがたい。 ・全く昔のまねではなく、プラス近代的要素も加えたらよいと思う。奇抜なものではなく。 ・町家の伝統様式を残したいと思う場合は、大変良い取り組みと思う。伝統様式をベースに新感覚のものを構築したい場合にも、補助制度を活用できれば良いと思う。またその際には、市からデザインについてアドバイスをしてもらえればなお良い。 ・近年、次世代の人たちが住まないために、取り壊し、駐車場や建売住宅等になっているところがあり、残念に思う。相続を含む対策を願う。 ・建築時の種々規制のバランスをとるリスクが施主にあり、苦勞した。民法、消防法、建築基準法の兼ね合い、奈良市行政でも担当部門が別で、横の調整もない模様。町家隣家との間隔、軒の高さ、防火にかかるコスト、手段により意匠が悪くなるなど。町家の良さは軒瓦が同じ高さに並ぶことであり、設計上合わせるように勧めてはどうか。規制のバランスのとり方を、にぎわい課等どこか一部署が窓口になり、施主に対して一本化し、行政他部門と調整してほしい。 ・電線の地中化。 ・逗子市のように、まちなみデザインコードをわかりやすくした冊子を発行してほしい。
全体ビジョン・奈良らしさについて (6 件)	・個に拘りすぎずに、奈良町全体のビジョンを第一に考えて、それに沿って個々を活かしてほしい。 ・観光客に「奈良町はどこですか?」とよく聞かれる。全体に散らばっていて説明がし難い。メインの通りなどがあれば良いと思う。 ・もう少し奈良町の良さを出すため、格子等の共通した景観にした方が良いかと思う。京都のような整った町家の景観にならないものか。バラバラな感じがして違和感を覚える。表の面だけでも揃えられたら、もっと県外からのお客も増えると思う。 ・奈良町に期待してこられる県外、外国の方々がかっかりしないように、全国どこにでもあるようなお店(料理や土産物)ではなく、奈良独自のものを考えてほしい。 ・全国の歴史的な建造物群を保存している地域とは見劣りする。もっと県や国の補助対象にもなる取り組みができないものか。 ・他地域の町家景観の地域と比べ、景観の統一が不十分である(例:看板統制や無電柱化ができていない、夏の下水が臭い、夜間の出格子照明が不十分、なぜならまちセンターが近代ビルなのか等)。今井町のように、出格子内のライトアップを推奨し、夜の散歩も楽しめるようにしてはどうか。色調の合わない看板の規制、取り換えは早く推進すべき。この課題への対応策としては、シンボル通り・境界の決定と重点的エリアを設定すること。本アンケートでの対象エリアは、非常に広く、全方位的に美観・景観・風情を維持するのは困難であるため、観光や買い物・飲食の重点エリア、通りを決め、その地域に重点的な上記景観等課題の改善を行う。出格子照明など、個人宅や店舗の協力必要なものは、地道に理解を求め、LED 化を推進するなど。
行政の取り組み姿勢への評価 (8 件)	・よくやってもらっていると思う。 ・あまり積極的でない。 ・もっと深く、景観形成に力を注ぐべき。 ・行政の強い指導による町並みづくりが必要と考える。 ・観光資源としての奈良の特色である町並みを大切に、行政からの積極的な支援を期待する。 ・補助制度自体はとても素晴らしい取り組みだと思う。補助額の算定基準や、この制度の理念をもっと詳しく、広く伝えてほしいと思う。仕事量も増えて時間的にも大変だと思うが、建て替えや修復をする方たちは、予算をやりくりしてより良いものになるよう努力している。一人一人の希望や理想に寄り添うよう、書面だけで判断せず、市の希望と個人のそれが折り合う点を考慮してもらえると、歴史的景観への理解も深まると思う。 ・市は補助制度の前に、住民が古い町を残そう、景観を美しく保とうという自覚を持つように指導すべきである。補助金はその後である。「補助金があるのでこうしてください」ではない。 ・「にぎわい課」という名称は相応しくない。静かなイメージがなくなる。
情報発信の必要性 (8 件)	・地域住民に、もっと歴史的な町並みの保存の必要性をPRすべきだと思う。 ・修理、修景補助制度を知らない人が多いので、周知を徹底すべき。 ・PRの強化(ならまちの格子や屋根瓦などの特徴を説明する)。 ・昔と違い、法制も変わり、大掛かりに改修すると固定資産税も大幅に上がるし、所得税もかかってくる。改修だと税金がかかってこないと思っている方が多いように思われるので、もう少しみんなにわかりやすいように公示した方が良いと思う。 ・これから制度を利用しようという方には、市や県での類似の補助制度を上手に活用することを、丁寧に説明する必要がある。たらい回しにあって、結局わからないままに諦めたり、トップダウンで話があると進んでしまうという古い体質から脱却すべき。にぎわい課は、全体を知り、またとりまとめ、コーディネーターする部署に成長すべきである。 ・固定資産税が高くなったことは知らない。 ・工事期間中でも、住人の意見を聞き入れてほしい。工事費の消費税の説明が不十分である。 ・Wi-Fi 利用可能場所がまだ限定的であるので、店舗等も含めて Free Wi-Fi 利用を活性化し、外国語も含めて案内してはどうか。

区分	記述内容
耐震性への不安 (4件)	・倒壊寸前で危険な家屋があり、心配である。 ・朽ちてしまった古民家がある。屋根が落ちたり壁が傾いて危険と思われる。古民家は残していくべきだと思うが、安全面は確保すべき。行政の取組みが欠かせないと思う。 ・木製格子の部屋は暗くなるので、光を取り入れることができればと思う。また古い家は耐震性に不安がある。 ・一番心配なのは地震である。釘を一本も使っていない格子が崩れるのが残念に思う。
交通の安全性の確保 (4件)	・訪れる人が増えて商売人にとっては良いと思うが、自動車が通行し難くなっている。 ・勝南院町から中新屋町へ横断する道路の交差点に信号機の設置を望む。 ・土日の自動車の乗り入れ禁止。 ・奈良町に車の速度規制の標識がないところがある。狭い道を時速 30 km くらいで走っていく車があり、危険である。標識を設置できないものか。
にぎわい・活気がある町について (3件)	・奈良町に観光客が増えてにぎわいが出てほしい。奈良町に移り住む人が増えてほしい。 ・若者と老人が共存でき、働く場所があること。買い物も、その所でしかなく、大阪、京都、神戸などに行ってしまうような環境を作っていくことが大事である。 ・商売人は人が来るように考えているのだろうが、休日や催し物があるときにはものすごい人通りであふれ、ゆっくり歩くので喧しい。昔は静かな町だったのに、普通の住人はどうすればよいのか。
その他 (6件)	・我が家の裏に、古い家を壊したままで何年も放置している土地があり、税金だけを納めているが、使い道に困ってそのままになっている。「にぎわいの家」にも一度伺い、市の施設を建てて利用していただこうとも考えたが、前の道が狭いので良い案がない。 ・高齢社会に向けて、やすらぎの道、中院町の太い道等、所々に腰を下ろして休めるものを作ってはどうか。また緑を増やしてほしい。 ・個人の建物に公金を充てることには、今でも疑問に思っている。改築はあるが、奈良の町家で新築した家はこの 20～30 年でゼロに近いだろう。農家が今でも旧来の方法で立てていることを考えると、差は歴然である。街中では歯抜けになる一方。まして奈良市内は、県内で 10 番に入るかどうかという町並みである。今更残さなければいけないような町並みではない。まして「修理・修景の経費負担に比べて補助金額が少ない」と考える人がいるとしたら、公金などもってのほかである。 ・奈良町景観形成地区内の景観形成の中心である、築 100 年以上の建物の調査はされたか。 ・最初はイタリア等の真似事、舞台の仮住居のようで薄っぺらい感じがしたが、周りに何軒も増えてきたので過去の真似事というのではなく、これが新しい町づくりなのかと思うようにはなった。奈良町に西洋風の住居を建てようとする人にとっては厳しい。 ・これまで何回となく団体や大学から奈良町に関するアンケート調査があったが、その結果は私たちには知らされずに何も変わっていない。このアンケートは大丈夫か。きちんと活かされるのか。

■ 調査 2（内部改修補助制度について）

⑪ 内部改修補助制度の利用の認知

設 問 11 あなたは、この建物が、かつて町家建物内部改修補助制度を利用したことをご存知でしたか。

【 母数:19 】 【 回答数:19 】

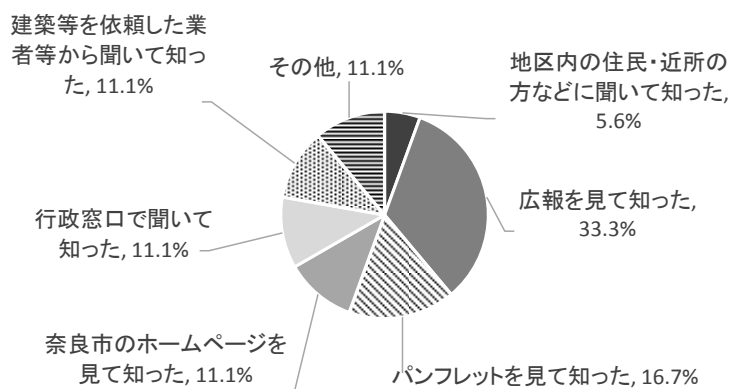
- ・全回答者が、「自分（又は家族）が申請を行ったので知っている」という回答であった。

⑫ 内部改修補助制度の認知の媒体

設 問 12 あなたは、町家建物内部改修補助制度を何によって知りましたか。

【 母数:19 】 【 回答数:18 】

- ・広報を見て知った人が 33.3%と最も多い。外部補助では建築等を依頼した業者等から聞いて知った人が多かったことと異なる傾向を見せるが、これは新たな制度（モデル事業）であったことが関係すると考えられる。



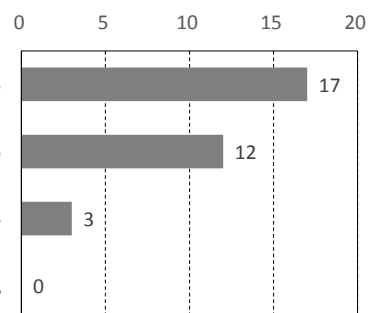
⑬ 内部改修補助制度の利用のきっかけ

設 問 13 あなたが町家建物内部改修補助制度を利用しようと思ったきっかけは何ですか。（複数回答）

【 母数:19 】 【 回答数:18 】

- ・資金的に助かるからと回答した人が 17 名 (94.4%) と大半であり、町家の伝統様式を受け継ぎたいと思ったからという人が 12 名 (66.7%) であった。

町家の修理や改修にあたって、資金的に助かるから
町家(又は町家の伝統様式)を受け継ぎたいと思ったから
資産価値が上がる(高く貸せる又は売れる)と思ったから
その他

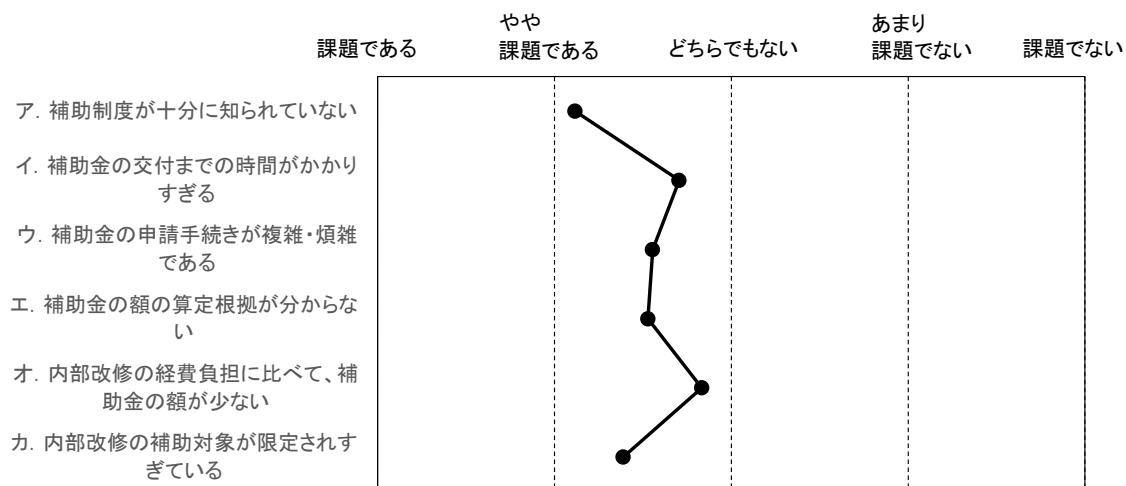


⑭ 内部改修補助制度の課題

設問 14

あなたは、町家建物内部改修補助制度を利用して、どのような課題があると感じましたか。

【母数:19】【回答数…ア:17、イ:17、ウ:18、エ:17、オ:18、カ:18】



- ・補助制度が十分に知られていないこと、内部改修の補助対象が限定されすぎていることが課題として認識される人が多いことがうかがえる。また、その他の項目についても、課題として捉える人が多い傾向がうかがえる。

※ 各課題の詳細内容ならびにその他の課題の内容

- ・内部改修の補助対象が限定されていたため、工事設計、計画に困難な部分もあったように思われる。私は設計者、工事業者の力を借りて、申請手続きを進めることができたが、個人で届け出等をするのは難しいように感じた。
- ・風呂の改装ができなかった。
- ・システムキッチンが対象とならなかった点が不満である。

(2) 検証モデル地区内の建物所有者アンケート調査（(1)に該当するものを除く）

- ・調査対象：現地調査地区（中新屋町、鵜町、毘沙門町、公納堂町）内に所在する建造物（ただし、(1)に該当するものを除く。）の所有者
- ・調査方法：郵送配布・郵送回収を基本とする
- ・調査期間：平成28年10月17日から平成28年11月10日まで
- ・配布数・回収数・回収率：

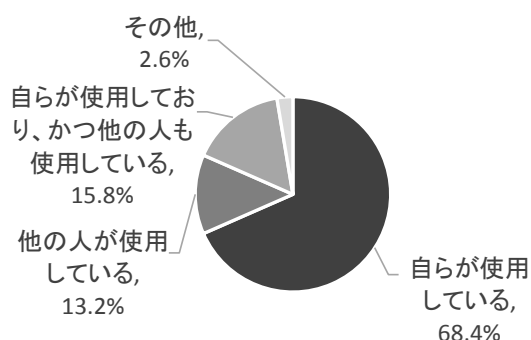
	配布数	回収数	回収率
中新屋町	27	15	55.6%
公納堂町	10	5	50.0%
鵜町	17	10	58.8%
毘沙門町	23	8	34.8%
全体	77	38	49.4%

① 使用状況

設問 1 この建物のご使用（住居や店舗などとしての使用）の状況をお教えてください。

【母数:38】【回答数:38】

- ・自らが使用しているという人が26名（約7割弱）を占める。
- ・その他（1名）は、日常的には使用せず、倉庫となっている建物であり、広義には「自らが使用している」に含まれる。

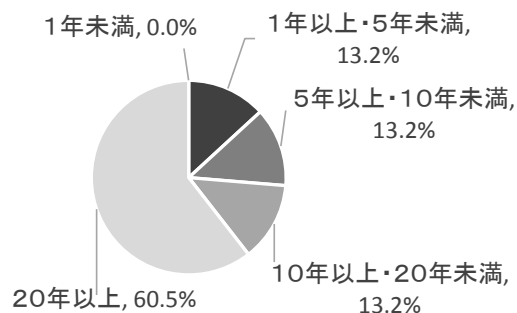


② 所有年数

設問 2 あなたは、どのくらいの期間、この建物を所有されていますか。

【母数:38】【回答数:38】

- ・20年以上所有している人が23名（約6割）と最も多く、その他の類型は同程度であった。

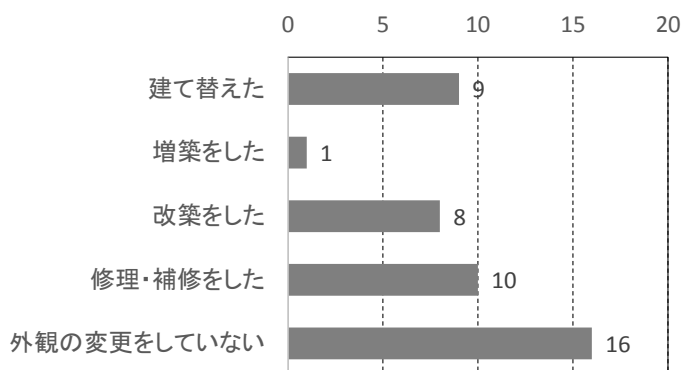


③ 建物の外観変更履歴

設問 3 あなたが所有されている期間中に、この建物は建て替えや増築、改築、修理・補修などの建物の外観の変更を行いましたか。(複数回答)

【母数:38】【回答数:38】

- ・外観の変更を行っていないという人は16名であり、残りの22名の所有する建物が何らかの外観の変更が行われた。その内訳は、修理・補修が10件と最も多く、建て替えが9件、改築が8件と続いている。

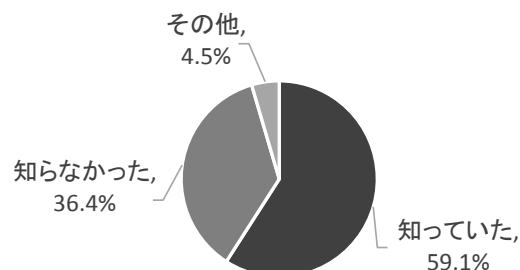


④ 外観変更時の修理・修景補助制度の認知

設問 4 あなたは、設問3でご回答いただいた行為を行う際、「建造物の修理・修景補助制度」をご存知でしたか。

【母数:22 (設問3で何らかの外観変更を行った人)】【回答数:22】

- ・外観変更時に修理・修景補助制度を知っていた人が13名(約6割弱)と半数以上を占める。
- ・「その他」(1名)は、修理・修景補助制度が創設される以前に外観変更を行ったというものであった。

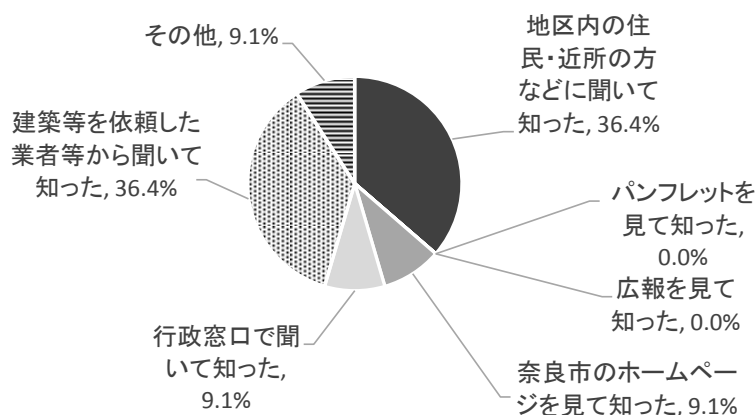


⑤ 修理・修景補助制度の認知の媒体

設問 5 あなたは、「建造物の修理・修景補助制度」を何によって知りましたか。(複数回答)

【母数:13 (設問4で知っていたと回答した人)】【回答数:11】

- ・外観変更の際に業者等から聞いて知った人、地区内の住民・近所の方などに聞いて知った人が多い。広報やホームページ、パンフレットだけでは、十分な周知が図れないことがうかがえる。
- ・「その他」は、「友人から聞いて担当課に問い合わせた」であった。



⑥ 修理・修景補助制度を利用しなかった理由

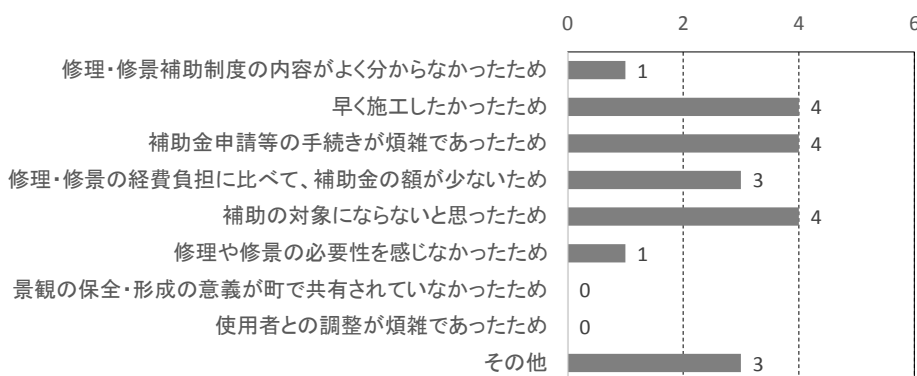
設問 6 あなたが、「建造物の修理・修景補助制度」を利用しなかった理由をお教えてください。（複数回答）

【母数:13（設問4で知っていたと回答した人）】【回答数:13】

・「早く施工がしたかったため」、「補助金申請の手続きが煩雑であったため」、「補助の対象にならないと思ったため」が各4名であった。

・「その他」の理由は、「設計士との調整が

うまくできなかったため」、「建て替え当時、新築は適用しないと聞いたため」、「昔ながらの建て方のみが対象で、規定が厳しかったため」であった。

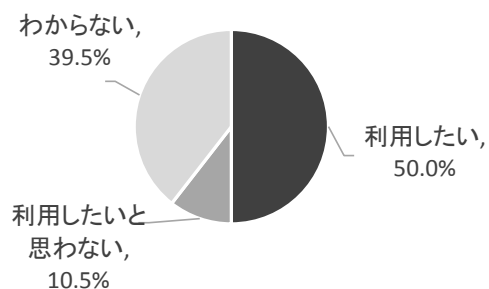


⑦ 今後の修理・修景補助制度の利用の希望

設問 7 あなたは、今後、建造物の建て替えや増築、改築、修理・補修などの建物の外観の変更を行う際には、「建造物の修理・修景補助制度」を利用したいと思いますか。

【母数:38】【回答数:38】

・利用したいという人が19名（5割）と半数を占め、わからないという人が15名（4割弱）、利用したいと思わない人が4名（1割強）であった。



※ 回答の理由

■ 「利用したい」理由

- ・より周囲の景観に溶け込む、奈良らしい建造物にしたいため、また、一人一人そうすることで、町全体の価値（ブランド力）も向上すると考えているため。
- ・奈良町が好きで住んでおり、この町に景観をずっと大切にしていきたいため。
- ・奈良町に生まれ育った一人として、地域の活性化を常に考えていたから。
- ・地域にとっても、我々にとっても良さそうな制度であるため。
- ・町内の事例を見て良いと思ったため。
- ・修理に補助制度があることを知らなかった。これからは利用できたらしたい。
- ・建築後、年数が経つに従って、修理する箇所が年々生じてくるため。
- ・シャッターで見栄えが悪いため。
- ・（要望）塀のみで、主屋は奥に建てられており、主屋はこの制度に該当しない。要件を緩和して欲しい。

■ 「利用したいとはおもわない」理由

- ・随分制約があると聞いているため。

■「わからない」理由

- ・手続きが煩雑である。思い通りの修理ができない。
- ・手続きに時間がかかる。思い通りの修理ができない。
- ・今後の建て替え等、今のところ考えがないため、その時期による。
- ・高齢世帯で後継ぎがいらないため、どうするか分からない。
- ・高齢になり、外観の変更を伴う改修は、まずできないと思う。
- ・補助対象外の建物だから。
- ・自分の希望と行政の要望が合えば利用することに問題はないと思う

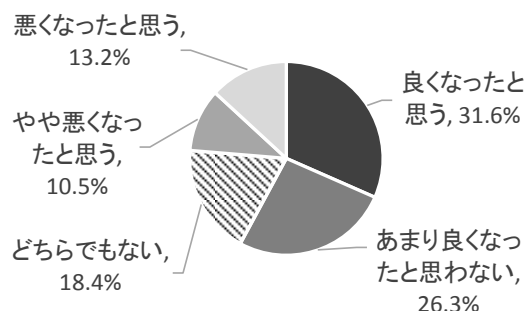
⑧ 通り景観に対する評価

設問 8

あなたは、この建物が位置する通りの景観は、10～20 年ほど前に比べて良くなったと思いますか。

【母数:38】【回答数:38】

- ・良くなったと思うという人が 12 名（約 3 割）と最も多い。しかし、あまり良くなったとは思わない人も 25%強、また、悪くなったと思う人とやや悪くなったという否定的な評価の人も併せると 25%弱と多く、通り景観に対する評価は、人によって大きく異なる。



※ 回答の理由

※ 括弧内は同一意見の件数

■「良くなった」と思う理由

- ・古民家が適切にリフォームされて、町並みが保たれている。
- ・きれいに修理された家屋が見られるため。
- ・町家を意識したような新築物件が建ってきていると感じるため。
- ・奈良町にぎわいの家が出来て、集客が良くなり、活気が出てきた。
- ・観光地としての活気が出てきた。
- ・道路際を 1m ほどセットバックしており、通行しやすく、便利になった。
- ・少しは良くなったと思うが、個々の建物自体が、和風・洋風が入り乱れた感じで、昔の面影が失われつつある。50～60 年前は五重塔がくっきりと見えた。

■「変わっていない」と思う理由

- ・古くからお住いの家が多いため、家の建て替えがあってもあまり変わらないと思う。

■「悪くなった」と思う理由

- ・歴史的な町並みを基準に、狭義に考えると、良好に残されているとは思えない。今の形が奈良町だと考えると、また、自家も昔の奈良町家の形を失っていることを含めて考えると、あまり良くなったとは思えない。
- ・悪くはなっていないが、観光客を惹きつける目的での商店のデコレーションが急増し、住宅地としては落ち着かなくなった気がする。毎日がおん祭りのようで、にぎやかではあるが。
- ・古民家が上手に利用されているのは良いと思うが、その反面、店が多くなって、落ち着きがなくなった。町の活性化には仕方ないかとも思う。
- ・閑静なまちでなくなった。飲食店が隣に続いて 5・6 軒、長屋を入れたらすごい店数であり、家の前に 20 人並んで待っていることもある。次第に人が住むところではなくなってきた。
- ・住宅地であることを理解しない観光業者や商店主等のためだけに我々が辛抱する必要はないと思う。
- ・町並みが続くなかに、歯抜けのように駐車場が増えているため。
- ・空き家・空き地・駐車場などが増えたため。(2)
- ・高齢化で空き家・空き地が目立つため。
- ・歴史的な町並みに調和しない建物が増えたため。(2)
- ・調和しない建物や駐車場が増えたため。(2)
- ・統一感がない。(2)
- ・ここ 2～3 年、外国人を含め、観光客が増えているため、防犯カメラの設置を強く希望する。人通りが多くなり、自動車が通り難く、入庫もし難くなった。

⑨ 自由意見（奈良町都市景観形成地区における景観形成全般について）

設 問 9 修理・修景補助制度を含め、奈良町都市景観形成地区における景観形成全般について、ご意見等ございましたら、ご自由にご記入ください。

【 母数:38 】 【 回答数:38 】

※ 自由意見の概要

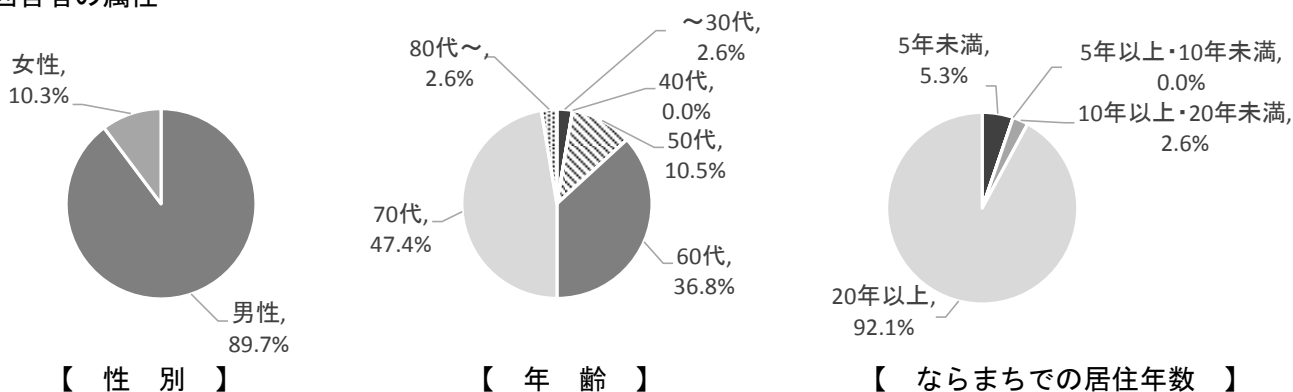
- ・このエリアの重要性を市がもっと強くアピールすることが必要である。個々の協力がないと奈良町のにぎわいは望めない。
- ・修理・修景補助制度を利用したいが、その内容がよく分からない。
- ・良い制度だが、関係者に常に周知して、タイミング良く申請できるようにしてもらいたい。
- ・窓口がどこなのか、どんなことを知っていれば良いかがずっと分からなかった。今回、奈良町にぎわい課が窓口と分かって良かった。鳴川町に市の支所があったことにも驚いている。
- ・行政の相談窓口とのコミュニケーションを取りやすくして欲しい。
- ・個人的には、景観形成の内容がもう一つ掘みきれない状態ではあるが、橿原市や五條市などの他の地域に比べると、工法等の情報は豊富で丁寧であると思う。
- ・一番に住民のためということをはっきりして欲しい。
- ・もっと積極的にすべき。
- ・あまり積極的とは思わない。
- ・あまりにも積極性に欠ける。
- ・ならまちの建物は、道路に面していない部分も、良質な部分が多いため、その補助を考えて欲しい。
- ・奈良町が好きで、この景観に合うように考えてリフォームしている人もいる。昔ながらの建て方のみに補助をするのではなく、奈良町風にリフォームする人の気持ちも汲んで、対象にしていって欲しい。また、併せて、調和しない建物の規制の強化、車の通行規制なども考えて欲しい。元興寺前の道は一方通行にして欲しい。安心してゆったり歩いてもらいたい。多くの観光客が来て、奈良町は賑わっている。来てくれた人ががっかりしないような奈良町であって欲しい。奈良町の景観がずっと愛されるような町であることを願う。
- ・地区内の道路幅が狭いため、相互通行ではなく、一方通行にした方が良い。観光客等への安全策として重要である。また、町並み保全のための工事には、工事車両の駐車場確保に協力が必要である。
- ・ならまち地区において、一つ一つの家も景観づくりには大切であるが、それ以前に大変気になっていることが、2つある。1点目は、電柱・電線・街灯が今時でない。一言で言うと汚い。2点目は、下水のにおいをあちこちで感じる。先進国から来た観光客は、間違いなく嫌悪感を持つと思う。至急手当てをお願いしたい。
- ・自分の家だから自由な形にしたい。格子は景観としては良いが、住人にとっては、暗くて風が入らず、非常時にすぐに外に出られない。
- ・後継者が自分たちの家庭を重視するため、昔ながらの付き合いが薄れ、疎遠になっている傾向がある。帰りたい、帰ってきてよかったと思えるよう、景観だけでなく、中味（地域のつながり等）にも関心を向けるべき。
- ・補助制度等を中止し、道路を広くしたり、トイレ等を設置するなどのその他の整備を希望する。修学旅行生がトイレに困っている様子も見かける。
- ・これくらいで賑わいはやめにしなければ、古都の風情が失われてしまう。奈良は田舎であり、いまに田舎こそが貴重になる。それを売りにしてはどうか。大仏商法に学び、それ以上は何をやっても中途半端。どこにでもあるような町にしたい。制度の情報公開を是非して欲しい。風評が飛び交っている。
- ・猿沢池を越えて、大きな道路の間で、池から南へと進む観光客が少ないように思う。池から南への流れができれば良い。

(3)「奈良町都市景観形成地区」の景観の現状と課題に関する自治会長アンケート調査

- ・調査対象：「奈良町都市景観形成地区」を含む自治会の自治会長
- ・調査方法：手渡しによる配布（連合会長に各自治会長へ配布を依頼）、郵送回収
- ・調査期間：平成 28 年 10 月 17 日から平成 28 年 11 月 10 日まで
- ・配布数・回収数・回収率：

	配布数	回収数	回収率
全体	58	40	69.0%

回答者の属性



- ・性別では、男性が 9 割弱を占める。
- ・年齢では、70 代が 47.4%と最も多く、60 代が 36.8%と続き、60 代と 70 代で全体の約 85%を占める。
- ・ならまちでの居住年数は、20 年以上の人が 9 割以上と大半を占める。

① 奈良町都市景観形成地区の現況評価

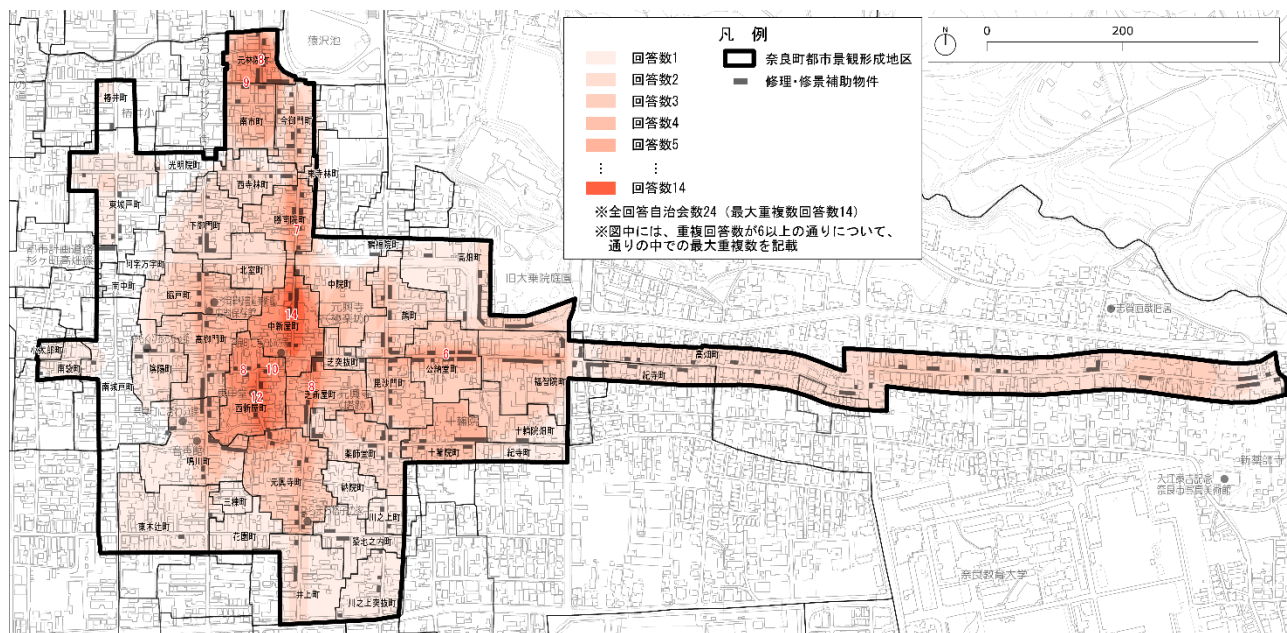
設問 1

あなたは、奈良町都市景観形成地区内における現在の状況として、次のア～ウのような「通り」や「範囲」はどこだと思いますか。図中にそう思われる「通り」や「範囲」を囲って、番号をご記入ください。

- ア 歴史的な町家や町並みがよく残っていると思う「通り」や「範囲」
- イ 多くの人々が訪れ、活気が感じられると思う「通り」や「範囲」
- ウ 景観上の課題がある・改善した方が良く思われる「通り」や「範囲」

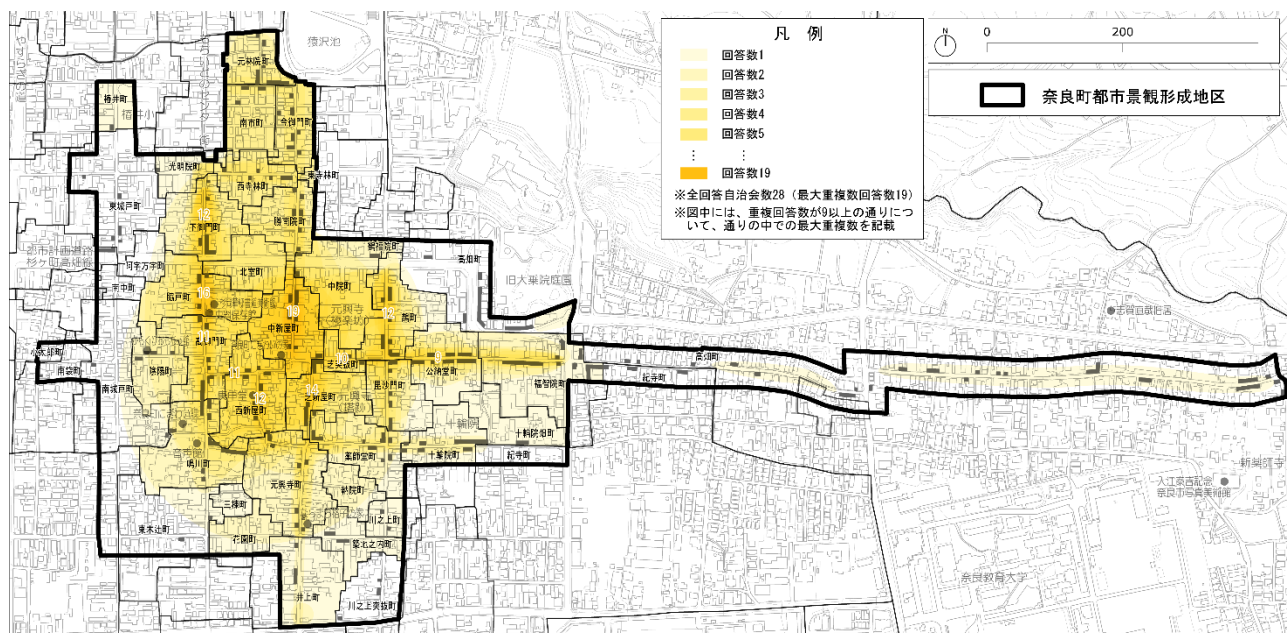
【母数:40】【回答数:28】

ア 歴史的な町家や町並みがよく残っていると思う「通り」や「範囲」 【母数:40】【回答数:24】



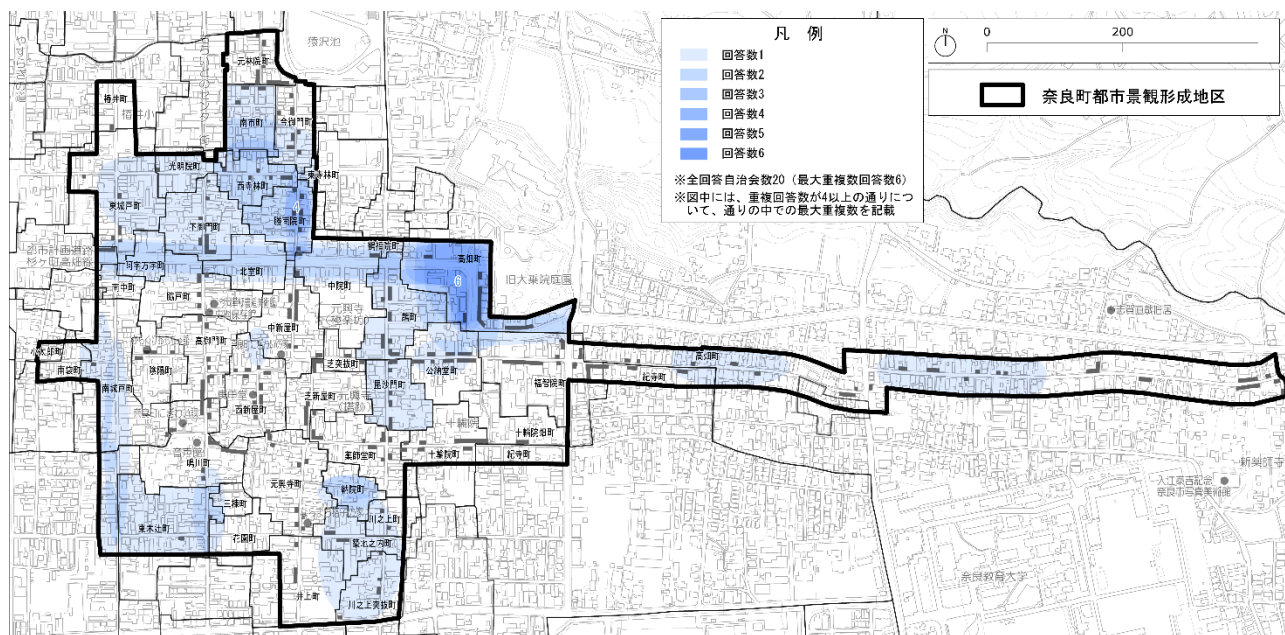
- ・中新屋町、西新屋町、芝新屋町を中心に歴史的な町家や町並みがよく残っているという評価が多くみられる。また、元林院町、勝南院町、公納堂町付近も評価が高い。
- ・修理・修景補助物件の分布と比較すると、修理・修景補助物件が多い区域が、歴史的な町家や町並みがよく残っていると評価されている区域と重なっていることがうかがえる。

イ 多くの人々が訪れ、活気が感じられると思う「通り」や「範囲」 【母数:40】【回答数:24】



- ・歴史的な町家や町並みがよく残っていると評価された中新屋町、西新屋町、芝新屋町を中心に、多くの人々が訪れ、活気があるという回答が多くなっている。もちいどのセンター街から続く下御門町、脇戸町、高御門町の南北の通り、元興寺門前の鶴町、新しい店舗の出店が集積してみられる公納堂町付近にも多くの人々が訪れ、活気があるという回答が多くみられる。

ウ 景観上の課題がある・改善した方が良くと思われる「通り」や「範囲」 【母数:40】【回答数:24】



- ・都市計画道路杉ヶ町高畑線に景観上の課題が多くあげられており、特に高畑町御所馬場町付近に集中している。
- ・ア・イの回答と異なり、奈良市都市景観形成地区の縁辺部や都市計画道路杉ヶ町高畑以北に景観上の課題がある区域が多くあげられている。特に、道路拡幅事業との関係から、勝南院町が多くあげられている。

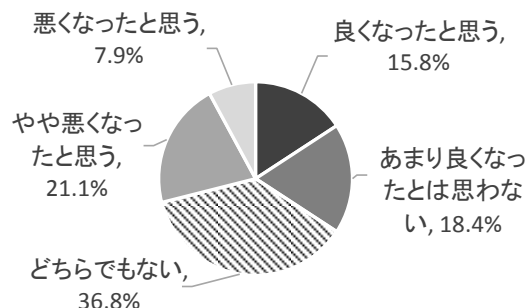
② 通り景観に対する評価

設問 2

あなたは、奈良町都市景観形成地区内のあなたの自治会の区域の景観は、10～20 年ほど前に比べて良くなったと思いますか。

【母数:40】【回答数:38】

・「どちらでもない」という回答が 36.8%と最も多くみられ、その他の回答も分散しているように、良くなった面もあれば、悪くなった面もあり、判断が難しいという状況がうかがえる。



※ 回答の理由

※ 括弧内は同一意見の件数

■ 「良くなった」と思う理由

- ・20 年ほど前は、店も必要なものを売るだけの店であったが、現在は若い人たちが中心となった趣味と実益を兼ねた店に変わり、明るい町になったと思う。
- ・鹿の舟ができて、人の流れが変わり、観光客が増えてにぎやかになった。
- ・音声館ができて町がにぎやかになった。
- ・街灯が整備され、明るくなった。
- ・街路樹の保全を市が実施し、落ち葉等は万年青年クラブが担っているなど、清掃が行き届いている。
- ・家をリフォームしたり、新築したり、古い民家を壊してハイツが建築されたりして、景観は良くなった。道路にゴミも落ちていなくきれいになった。

■ 「変わらない」と思う理由

- ・変化は色々あらわれているが、必ずしも悪くなったとは思わない。古い町家が改修された反面、マンションや駐車場になった部分もある。マンションでも景観に配慮したファサードが定着してきている面もある。
- ・元々、伝統的な町家が少なく、古民家も少ない。商店もなく普通の住宅街である。また、町名の御所馬場町をやめて、一律高畑町となったため、特色がなくなった。
- ・昔の市場の通りであり、町家もなく、市場がなくなったところには民家が建つ。新しい店もない。
- ・商店街と住宅地区があり、住宅地区の方が、古い町並みの景観などは全くなく、ただ車の通りすぎるだけの場所で、奈良町の感じはしない。
- ・数件の建て替えはあったが景観を損なうものではない。
- ・当自治会の区域は、寺院が大半を占めるため、景観は変化ない。

■ 「悪くなった」と思う理由

- ・昔の町家はほとんどみられなくなったが、今風の家が整然と建っている。所有者がいなくなった家屋を地続きの方が購入して整備されている例もある。
- ・老朽家屋が改築され、アパートやホテル（ゲストハウス）が増えた。
- ・社家町や町家の雰囲気を残す建物がどんどん減っている。
- ・今までも統一化された景観の方針は存在しなかったが、旧商店通りとして木造家屋が続き、各家屋は、奈良の町家造りとして奥深く、中庭があり、井戸があり、奈良町としての形態をなしていた。利便性を目的とした建て替えで、建築様式も使用材料も色彩もバラバラになり、景観が悪化した。行政指導と財政的支援が立ち遅れている。
- ・ならまち風の景観の町家（店舗を含む）が増えても、居住者の転出が止まらず、空き家となる。プラス面とマイナス面をあわせると、あまり良くなったとは思われない。
- ・色々な形態の駐車場が増え続けていて、町並みが歯抜け状態になっている。特に問題なのが老朽化した町家が増えていることである。これは家主や地域の経済力不足のためか。
- ・道路面に駐車スペースを設け、家を下げて新築する家が増え、およそ奈良町の景観とは言い難い。
- ・狭い町並みを他府県の車による渋滞、派手な看板のコインパーキングによる町並みの阻害がみられる。
- ・駐車場や空き地が増えた。(3)
- ・昔と比べ、寂れたように感じる。高齢者が多く、子どもはいない。町として寂しくなった。住居、建物は変わらない。
- ・電柱の地中化はプラスであったが、自転車や自動車の交通増加がマイナス面としてある。
- ・新しい建物や道路整備が進んでいない。
- ・通行する車の量が増えている。特に、日曜や祭日は多い。
- ・区域的には中心部ではないが、迷った外国人が場所等を聞きに来るがマナーが悪い。

③ 生活環境の課題・改善希望

設 問 3 あなたは、奈良町都市景観形成地区内のあなたの自治会の区域における生活環境について、「課題と思われること」や「改善に取組みたいと思われること」があれば教えてください。

【 母数:40 】 【 回答数:31 】

※ 生活環境の課題・改善希望の概要

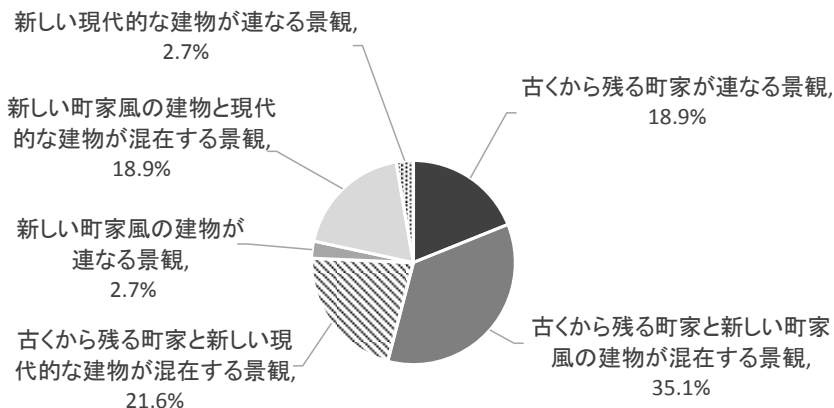
項目	課題・改善希望の内容
地区指定の拡大	- 一部が地区指定を受けているが、全体で指定してもらい、景観の形成に取り組みたい。 - 高畑町（上・下）の北側のみが風致地区で、南側は規制外のため、通りとしての統一が保たれていない。
町並み	- 都市計画道路の拡幅により、家屋の建て替えが済んで、かつての町並みは存在しない。 - 無電柱化の推進。
空き家・空き地 少子高齢化 担い手不足	- 空き家が増え、老朽化している建物もある。危険になる場所を想定しながら、所有者が不明または遠方に住んでいることもあるため、事前に市や消防、警察に連絡する等の対処方法を整理する必要がある。 - 老朽化した危ない建物があり、所有者と相談して対策を講じたいが、所有者が不明である。 - 老朽化した建物が多く、空き家もある。 - 老朽化して危ない建物があり、子ども達や観光客に被害が出ないか心配である。 - 老朽化した危険な家を行政でなんとかして欲しい。 - 空き家又は独居の家が多く、管理されないため、万年青年クラブをお願いをして、周囲の清掃をしなければならない。 - 所有者が亡くなり、管理人が不明の建物が2棟見られる。建物の老朽で、地震などの時に倒壊しないか不安であるため市で調査して欲しい。 - 空き家の増加と居住者の高齢化。 - 旧錦市場（西木辻町）が更地になったが、どのように使用するか情報がない。健全な仕様なら問題ないが。 - 道路拡幅により世帯数が半減、空き地（駐車場）や空き家が増えた。高齢化も進んでいる。 - 家も老朽化し、子どもたちは外へ出ていき、年をとった老人らが住んでいるが、金銭的な問題で困っている。 - 次世代が出ていってしまっているため、10年・20年先には空き家が増える可能性が高い。 - 老朽した建物が多く、歩くのに危険なところがある。 - 比較的古い形態を保つ町家も多いが、問題はその「継承」であると思われる。次代を担う人たちが、必ずしもいるわけではなく、相当の先には管理できなくなるおそれもある。
観光	- ゲストハウスが増え、外国人観光客が多い。 - 観光客を多く見かけるが、言葉が通じないため道案内などができない。案内板の内容を分かり易くして欲しい。 - 外国人のマナーが悪い。案内所などで、テキストなどを用意された方が良い。 - 夜間でも観光客のキャリーバックの音が響く。車がギリギリ通る狭い道があり、住民ではない方が間違って通行すると、家屋を傷つけたり、トラブルの原因になる。看板の設置や通行の制限をかけて欲しい。また、GPS機能を使ったゲームでのトラブルなどで、夜間に人が集まり騒いでいて迷惑である。 - 他市の企業によるゲストハウスが次々と開業している。生活環境や防犯、防災、自治会との親和、宿泊観光客との問題発生などの懸念がある。 - ホステル（ゲストハウス）が増え、外国人の出入りが多いため、防犯上の不安を感じる。
防犯	街灯をLEDにするための資金が自治会にはないため、市で街灯を新しくして欲しい。
交通	- 安心して歩ける町にするために、車の通行を制限する必要がある。 - 学生の登下校が多くなった。自転車による、2・3列の並走やスピードの出しすぎなど、マナー厳守を要望する。学生の下校の際、街灯が暗いため、街灯を増やしたり、LED照明を使用するなどで安全性を確保することが必要である。 - 自動車・自転車がが増えて危険である。特にマナーの悪い自転車が急増している。 - 自動車の往来が多く、事故が心配である。 - 狭い道路を車がスピードを出して通り抜けるため危ない。通学の子どもにも危険である。 - 道路が狭いなかで、交通量が多いため、歩行者や自転車の通行も危険で、事故の多発地帯でもある。 - 道幅が狭いの大きな車が行き来して、お年寄りなどにも危険である。

④ 奈良町都市景観形成地区内の自治会の区域における今後の景観の方向性

設問 4 あなたは、今後、奈良町都市景観形成地区内のあなたの自治会の区域の景観は、どのようなになれば良いと思いますか。

【母数:40】【回答数:31】

・「古くから残る町家と新しい町家風の建物が混在する景観」が35.1%と最も多く、「古くから残る町家と新しい現代的な建物が混在する景観」が21.6%と続いており、残すべき町家はしっかりと残しながら、変化を許容する景観が多く志向されている。



⑤ 自由意見（ならまちにおける今後のまちづくりの方向性について）

設問 5 「ならまち（奈良町都市景観形成地区とその周辺地域一帯）」について、今後どのようなまちづくりを目指すべきだと思いますか。

【母数:40】【回答数:31】

※ 自由意見の概要

- ・今のならまちのにぎわいは、古くから残る町家と新しい町家風の建物が混在する景観の良さ、すばらしさをもたらしていると思うため、今までと同様に推進してもらいたい。また、景観形成地区を可能であれば拡大してもらいたい。例えば新薬師寺へ至る通り、志賀直哉邸に至る通り、大乘院庭園前の交差点から東へ奥の入口までの通り、北天満町の通りなど、落ち着いた雰囲気がある通りが加わって、より景観がよくなればと思う。
- ・特に重要な伝統的町家は、行政が買い取って保存し、地域経済の発展、観光のために活用してもらいたい。
- ・町ごとに生き立ちが違い、性格が異なるため、一体的でなく、町ごとに目指す方向をきめ細かく考えるべきである。
- ・奈良町全体をどのような町にするか、商業・居住・コミュニティについて、皆で知恵を出し合って考えていきたい。全国どこにでもある町ではなく、奈良町らしさを出していきたい。その核になるものとして信仰があると思う。
- ・今ある古い建物をいかに残していくかが大切である。観光のために新しく建物や文化をつくるのではなく、既にあるものをどう生かすかが重要である。伝え方の問題だと思う。観光も大切だが、住民が安心して暮らせることが最も重要である。
- ・空き家の町家を積極的にリノベーションして、商業や宿泊施設として再利用することで、町に活気が出るようにしていくべきである。
- ・奈良町の中心通りがあれば良い。観光客に奈良町はどこかとよく聞かれる。電線類の地中化をして欲しい。
- ・現在奈良町らしい景観が残っているところは、電線の地中化をしてはどうか。
- ・道路の舗装について、一時保水性カラー舗装を実施したが、その後の工事による掘削等の後処理がちぐはぐで、美観上からも課題である。
- ・居住者中心のまちづくりを優先すべきである。
- ・静かで落ち着いた家並みの町を維持し、地元民の暮らしを優先すべきである。日用品、食料品の小売店が減り、日常の買い物が不便になるのを防ぐ必要がある。
- ・全体に居住件数も多く、古い民家等もまだ多く残っているが、第一に、今生活をしている人たちのことを思い、規制を考えるべきである。
- ・歴史文化の多様な魅力を育みながら、住民が暮らしやすいまちづくりを進めて欲しい。

- ・生活しやすい町でありつつ、訪れたい町
- ・古都の「奈良町」として、特長のある町並みのなかで、観光客がゆったりとした気分で散策できることが大切。
- ・奈良町全体としては、町家を活かした奈良町らしい店を増やし、おもてなしの商業環境をつくり、外国人観光客等の多様なニーズに応えられるまちづくりを目指すべきだと思う。
- ・住む人の数を確保すること。そのためには、働く場でもある「店」が成立するような一定の集客は必要である。「住家」としてのみ町並みを維持することは無理であり、商業的な活力は必要である。ただし、旧大西家を含め、単純に「にぎわい」という言葉を使うことは反対したい。
- ・「ならまち」といっても、所々に観光客が入るような所があるだけで、古いボロボロの家も混在しているため、全体をきれいにしなければ観光客も満足しないと思う。古着の店が多すぎることは残念であり、奈良らしい、可愛い、お洒落なお店を希望する。
- ・人が安心して歩ける環境、京終駅から奈良町まで一体としたまちづくり、子どもの声が聞こえるまちづくり、車いすや身体障がい者が安心して通行できる道路整備、奈良町づくりについての定期的な勉強会もお願いしたい。
- ・空地が駐車場になって、行楽シーズンになると、生活道路にも空車待ちの車で渋滞が生じる。全体の交通規制をして欲しい。
- ・地域を設定して、そこには車を通行させないようにしたい。
- ・南北に走る道路に自転車、車、観光客が休日などには入り交じり、通行するのが大変なことが多い。電柱の地中化等を検討して欲しい。
- ・高齢者が多く、子どもの少ない町になってしまったが、万年青年クラブで清掃を担ってもらいながら、今後も奈良町を保存していきたい。
- ・居住者の高齢化と空き家増を考えると、町家は高齢者には住み難い家であり、残していくことが難しい。

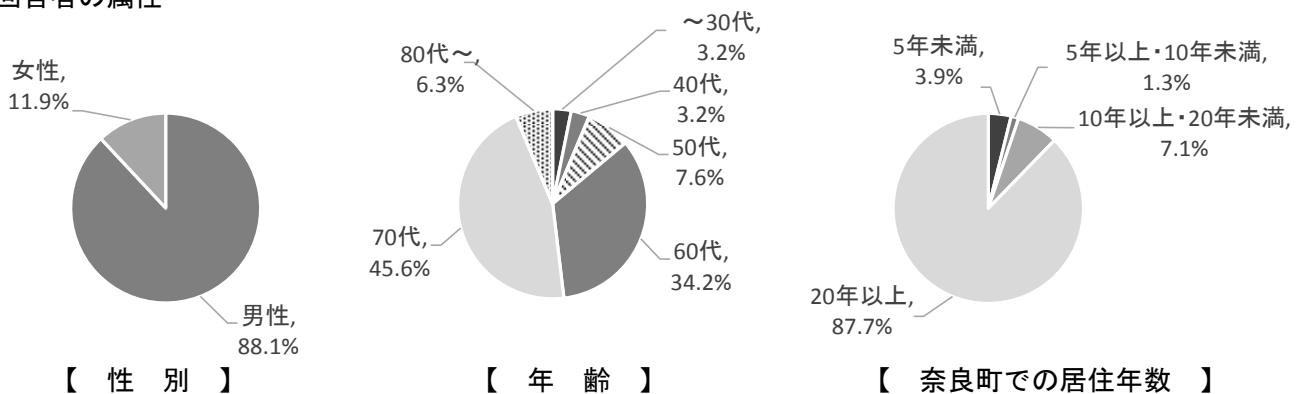
資料3.「新奈良町にぎわい構想」の策定に向けたアンケート調査について

(1) 奈良町自治会長アンケート調査

- ・調査対象：「奈良町都市景観形成地区」を含む自治会の自治会長
- ・調査方法：手渡しによる配布（連合会長に各自治会長へ配布を依頼）、郵送回収
- ・調査期間：平成28年10月17日から平成28年11月10日まで
- ・配布数・回収数・回収率：

	配布数	回収数	回収率
飛鳥地区	61	38	62.3%
済美地区	59	36	61.0%
鼓阪地区	24	17	70.8%
佐保地区	51	35	68.6%
椿井地区	50	33	66.0%
大宮地区	7	3	42.9%
全 体	252	162	64.3%

回答者の属性

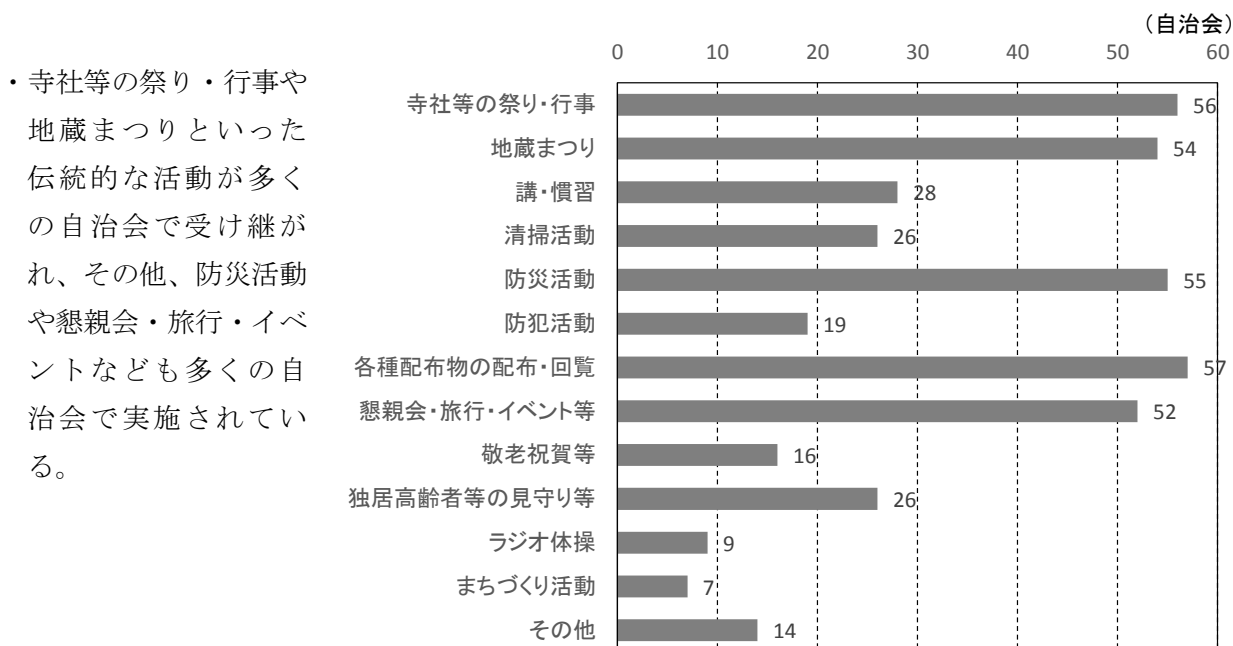


- ・性別では、男性が9割弱を占める。
- ・年齢では、70代が45.6%と最も多く、60代が34.2%と続き、60代と70代で全体の約80%を占める。
- ・ならまちでの居住年数は、20年以上の人が9割弱と大半を占める。

① 自治会における取り組み内容

設問 1 現在、あなたの自治会ではどのような取組を実施されていますか。（自由記述形式）

【母数:162】【回答数:139】

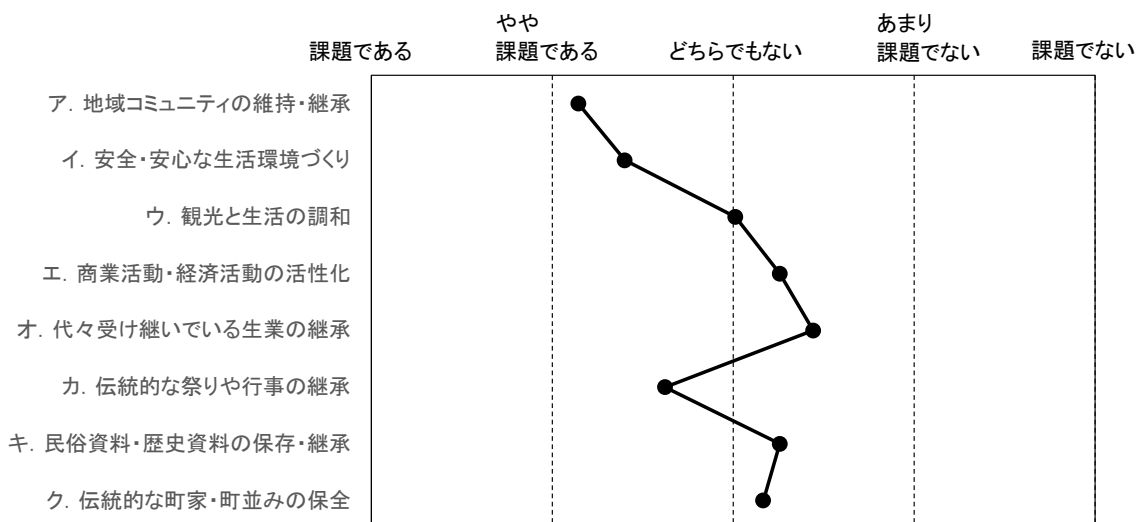


② 自治会が抱える課題

設問 2 現在、あなたの自治会においては、次の各項目について課題を抱えておられますか。

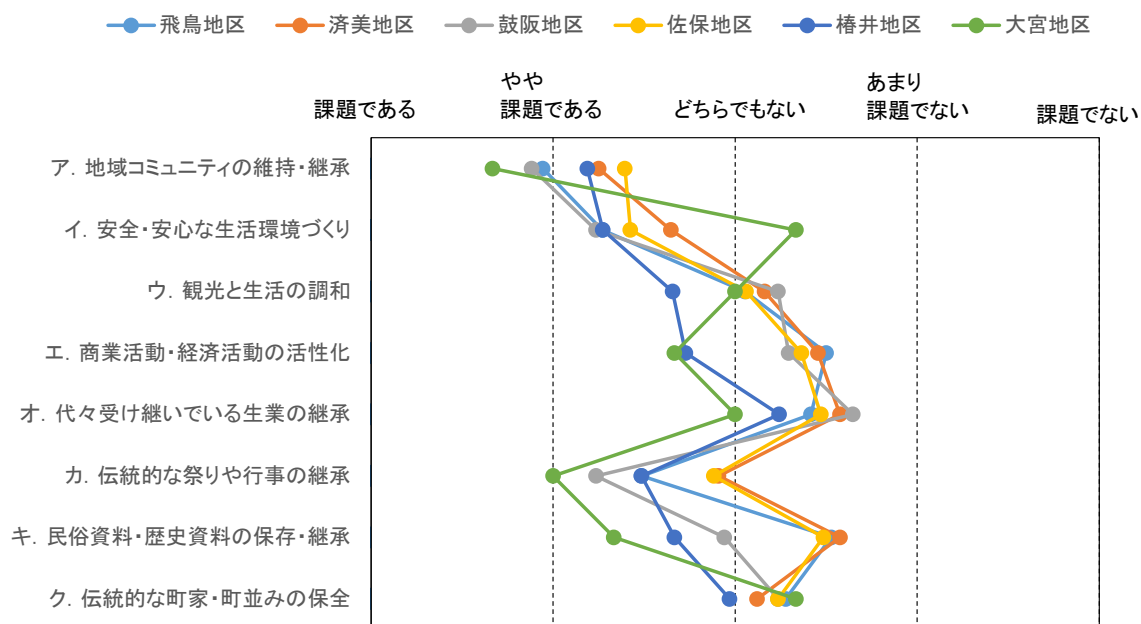
【母数:162】【回答数…ア:152、イ:157、ウ:153、エ:155、オ:156、カ:157、キ:155、ク:156】

（全体傾向）



- ・「地域コミュニティの維持・継承」、「安全・安心な生活環境づくり」、「伝統的な祭りや行事の継承」に課題があると思っている自治会が多くみられ、共通課題として認識されていることがうかがえる。
- ・一方、生業の継承や民俗資料・歴史資料の保存・継承、商業活動・経済活動の活性化、町家・町並みの保全は、課題として認識している自治会は少なく、これは、町家・町並みの残存状況や生業の継承状況、商店の分布などの地域ごとの特徴による（地域ごとの個別課題）と考えられる。

(地区別傾向)



- ・全体的には同様の傾向を示すが、各地区の特徴もみられ、特に、商店・商店街を多く含む椿井地区では「商業活動・経済活動の活性化」や「観光と生活の調和」が課題として多くあげられていることがうかがえる。

※ 各課題の詳細内容ならびにその他の課題の内容

項 目	課題の内容	回答数
ア. 地域コミュニティの維持・継承	自治会存続の課題	14
	新住民・マンション住民等との調整・交流	9
	活力に欠ける	3
	集会所の不在	1
イ. 安全・安心な生活環境づくり	高齢化による防災上の課題	4
	空き家の放置による危険性	2
	道路幅と自動車交通の課題	2
	災害時の対応が不明	1
	道路の管理不足	1
ウ. 観光と生活の調和	ゴミ放置や防犯などとの調整の必要性	1
	観光客等の通行が多すぎる	1
	夜間の防犯対策	1
	敷地境界の遵守	1
エ. 商業活動・経済活動の活性化	夜間に店が閉まり活気に欠ける	1
カ. 伝統的な祭りや行事の継承	子どもが少なく、祭礼・行事の意義が薄れる	1
キ. 民俗資料・歴史資料の保存・継承	民具等が失われていく	1
ク. 伝統的な町家・町並みの保全	空き家・空き地・駐車場の増加	1
	空き家の増加	1
	個人による維持管理の限界	1
	伝統的な町並みに不調和な建物の増加	1
その他の課題	清掃上の課題	4
	独居高齢者への対応	2
	町の魅力やアイデンティティに欠ける	2
	個別事案に関する課題	2
	自治会の負担が大きい	1

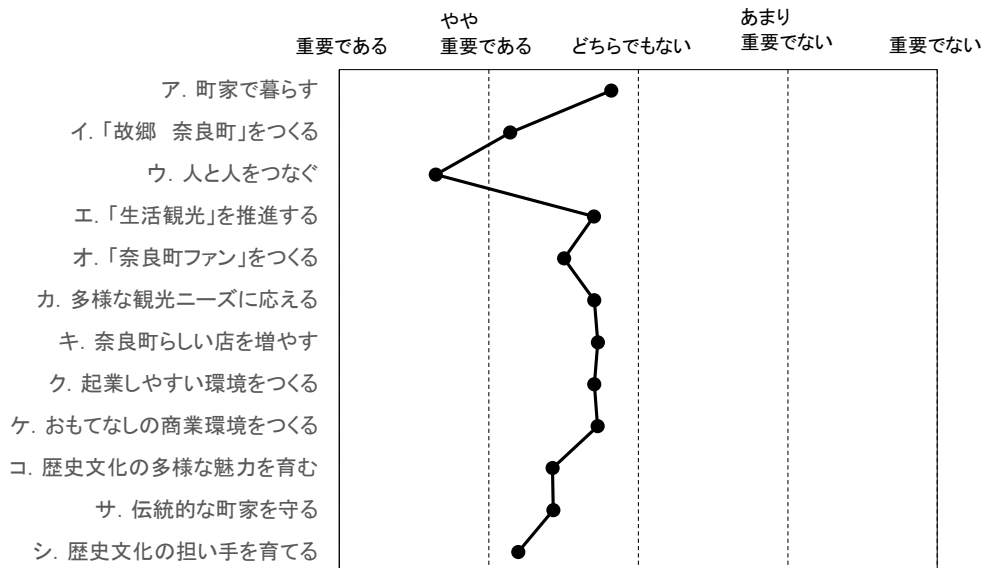
③ 自治会の区域における今後のまちづくりの方向性 <項目ごとの重要度>

設 問 3

今後、あなたの自治会の区域において、次の各項目はどのくらい重要であると思いますか。

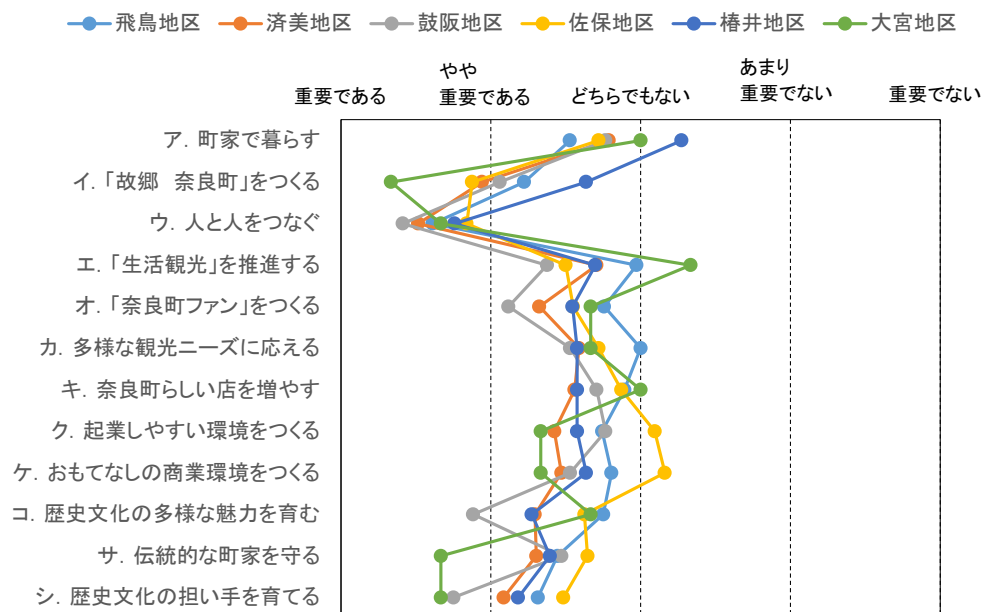
【 母数:162 】 【 回答数…ア:154、イ:155、ウ:155、エ:155、オ:156、カ:156、キ:155、ク:153、ケ:154、コ:155、サ:153、シ:153 】

(全体傾向)



・「人と人をつなぐ」、「故郷 奈良町をつくる」、「歴史文化の担い手をつくる」といった、居住者を中心とした「人づくり」の重要性の認識が高いことがうかがえる。

(地区別傾向)



・全体的には同様の傾向を示すが、各地区の特徴もみられ、特に、椿井地区では「町家で暮らす」「故郷 奈良町をつくる」、佐保地区では「起業しやすい環境をつくる」「おもてなしの商業環境をつくる」の重要度が他地区に比べて低く、鼓阪地区では「奈良町ファンをつくる」「歴史文化の多様な魅力を育む」「歴史文化の担い手を育てる」の重要度が他地区に比べて特になくなっていてる。

※ その他の方向性／施策・方策の内容

(方向性)

- ・歩いて楽しめる町
- ・今住んでいる人が住みやすい町／居住を中心とした町
- ・若者が住みやすい町
- ・コミュニティ育成と安心・安全な生活環境づくり
- ・マンションのふるさと化

(施策・方策の内容)

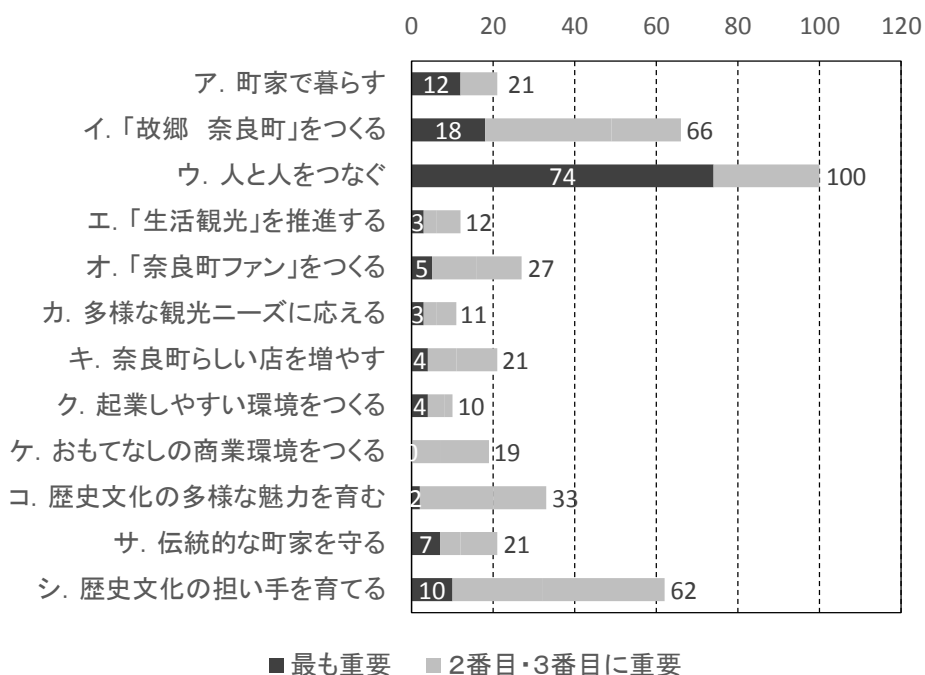
- ・倒壊等の危険がある建物への対応
- ・街灯を増やす
- ・防犯・防災対策
- ・交通規制の強化
- ・空き家対策
- ・若者の居住促進
- ・少子化対策
- ・住民によるわが町の歴史学習

④ 自治会の区域における今後のまちづくりの方向性 <特に重要な項目>

設問 4

設問3のア～シの項目のうち、あなたの自治会の区域において、特に重要であると思われる項目の上位3つを選んでください。

【母数:162】【回答数…最も重要:142、2番目に重要:135、3番目に重要:126】



- ・今後のまちづくりの方向性として、最も重要な項目は、「人と人をつなぐ」が74件（52.1%）と突出して多くなっている。
- ・上位3つでは、「人と人をつなぐ」「故郷 奈良町をつくる」「歴史文化の担い手を育てる」が、他の項目に比べて突出して多くなっている。

⑤ 奈良町における今後のまちづくりの方向性

設 問 5 奈良町全体として、今後どのようなまちづくりを目指すべきだと思いますか。（自由記述形式）

【 母数:162 】 【 回答数 89 】

※ 自由記述内容の要点

※ 括弧内は同一意見の件数

項目		自由記述内容の要点
居住・生活	暮らしやすいまち (生活を第一に考える)	・暮らしに魅力的な環境づくり ・落ち着いた静かなまち (2) ・住みよいまち ・住民生活を優先したまちづくり (2) ・人にやさしい、住み易い、子どもの声が聞こえるまち ・住み易いまち、若者と老人が共存できるまち ・高齢者・子どもたちが安全に暮らせるまち ・安全・防災・防犯が最優先 ・防犯対策の強化による安全・安心なまち
	人と人がつながるまち (地域コミュニティを育む)	・人と人とのつながりを大切にする (3) ・ご近所さんと仲良く暮らせるまち ・講や宗教行事を通じたコミュニティづくり ・自治会活動への参加 ・新旧住民のコミュニケーションの充実 (2) ・店舗と住民の交流拡大
	誇りをもてるまち (わが町への誇り・愛着を育む)	・住民が誇りをもてるまち (3) ・伝統文化が日常のなかにある誇れるまち ・わが町を誇れる人づくり
	若者を呼び込む	・若年層の呼び込み (4) ・地域産業を活かした若者の定住促進 ・空き家を利用した若年層の呼び込み (3)
歴史・文化	歴史・文化が息づくまち (歴史・文化を守り・育む)	・歴史・文化を大切に守り、受け継ぐ (2) ・歴史・文化を大切にしたい奈良らしいまちづくり ・歴史・文化の本質を大切にすべき ・歴史を大切にし、町の価値を再認識して活かす ・奈良町の歴史・文化の魅力を掘り起こし・発信 ・歴史・文化の担い手を育む (2) ・祭りや行事を継承する ・歴史・文化の多様な魅力を育みながら、暮らしやすい町づくり
	町家・町並みを守り・活かす	・町家の保存 ・町並みの保存の強化 (2) ・古都としての風情を感じられる町並みの形成 ・町並みの形成（広告物の規制や電線類の地中化、道路整備）(2) ・マンション建設の抑制 ・古民家を活かす ・古民家・空き家の活用による定住促進 ・今あるものを活かす ・空き家対策と景観保全 ・空き地・空き家の活用 (2)
観光・経済	再訪したくなる心休まるまち (奈良町ファンを増やす)	・リピーター・奈良町ファンを増やす (4) ・町並みの整備や奈良まちらしい土産物販売等による再訪したいと思えるまち ・奈良町の良さを理解する人が訪れるまち ・心休まる観光地
	奈良町らしい店づくり	・町家を活かした奈良らしい店づくり (2) ・町家を活かした宿泊施設の整備

項目		自由記述内容の要点
観光・経済	多様な観光ニーズに応える	・多様な観光ニーズに応えられるまちづくり ・おもてなしの産業育成 ・歴史文化を活かした体験学習型の店づくり ・昔の生活の体験などによる観光の魅力づくり ・女性に優しい環境づくり
	宿泊客を増やす	・宿泊客を増やす (2) ・宿泊客を増やして商店街を活性化すべき ・日常にない、奈良町固有の魅力づくり、交通対策や池の美化等による泊まりたくなるまちづくり
	夜間観光の魅力づくり	・夜間観光の魅力づくり (2) ・夜間 (21 時まで) のにぎわいづくり ・東大寺方面の夜間観光の魅力づくり
	観光のまち	・観光のまち ・多くの観光客を受け入れられるまち
	観光客にやさしいまち	・案内板の整備 (3)
	観光客のマナー	・観光客のマナー向上
魅力づくり・総合	奈良町固有の魅力づくり	・奈良町固有の魅力づくり ・他にない独特の雰囲気を味わえるまちづくり ・長い目で見て飽きられない魅力づくり ・長期的な視野に立った魅力づくり ・時代に流されないまちづくり ・偉大な田舎としての奈良町の魅力づくり ・奈良町の特徴を活かした話題になるような魅力づくり ・新たな発想による魅力づくり
	暮らしと観光が両立するまち	・くらし、なりわい、たたずまいのバランスのとれたまち ・住みやすく、訪れやすいまち ・防災対策により、安心して暮らし、観光できるまち ・落ち着いた雰囲気の中にも親しみやすい町 ・住民と観光客の融和 ・振興と保全のバランスが大切
交通	安心して歩けるまち	・交通対策による安心して歩けるまちづくり ・道路の整備や車両乗り入れ禁止区域の設定 ・交通対策による安心して歩けるまちづくり ・道路整備の充実 ・電線類の地中化等による安全で景観に優れた歩行者優先の道路空間の整備 ・道路空間の占有規制の徹底
	その他交通対策	・交通渋滞の解消
構想について	住民主導のまちづくり	・住民主導で行政は支援のみで良い ・住民が自分たちのために自分たちで盛り上げるまち
	行政と住民の認識の共有	・行政と住民の認識の共有
	奈良町の定義の明確化	・奈良町の定義を明確にすべき (2)
	地域ごとの特徴を活かす	・地域・地区の特徴に応じたまちづくり
	地域への展開	・高畑界限への観光動線の展開 ・京終地域の活性化 ・「きたまち」への観光客の呼び込み
	構想対象の絞り込み	・構想の対象範囲を狭めて拠点を絞るべき ・構想の対象範囲を狭めるべき (まとまりがつかない) ・構想の対象範囲を狭めるべき (我が町を観光の対象にされたくない) ・対象を狭い区域に限定し、重点的な観光化を図るべき
	歴史を踏まえた区分をすべき	・「ならまち」「きたまち」の区分ではなく、歴史を大切にすべき
	「にぎわい」の使い方	・なんでもかんでも「にぎわい」とするのは問題
	その他	・古都保存法を見直すべき ・現状維持

※ 自由意見の概要

- ・歴史と伝統を大切に、自分たちの町の価値を再認識する。目新しいものに飛びつくのではなく、昔の良さに気づき、それを活かす。庚申講や春日講などの宗教行事がコミュニティに重要な役割を果たしてきたと思う。
- ・住み易く、また訪れやすい町
- ・お金を使ってもらうことも大切かと思うが、安心して観光したり、住んだりできる町づくりが大切だと思う。防災はどれくらい考えていただいているのかと感じる。家が建て込んでいる地域であるため、地震の時は、住民も観光客もパニックになるのではないかと思う。急な体調変化があった時に、しっかりと言葉の通じる病院があるのか。
- ・土・日・祝日には、近鉄奈良駅へ、自転車で行くのに、狭い道いっぱい観光客が広がり、ベルを鳴らしてもよけない。観光客の誘導をしている人も、集団を固めて説明していない。生活している人のことを考えて、マナー良くすべきである。
- ・歴史文化の多様な魅力を育みながら、住民が暮らしやすいまちづくりを目指す。
- ・観光にばかり重点を置かず、静かな住環境が重要であり、それが、真に奈良を知る人を増やし、住もうという思いにつながると思う。
- ・落ち着いた雰囲気の中にも親しみやすい町
- ・昔からある普通の家ばかりである。最近はマンションや店ができてきているので、昔から居るものとのコミュニケーションが重要か考える。
- ・リピーターを増やすこと。夕食後（夜間）も、奈良町散策を楽しめる町づくりを考えることも重要。（なぜ観光客は奈良には宿泊しないのか？）
- ・日帰りではなく、宿泊してもらえそうな、何か奈良にしかない行事を考えられると良い。
- ・ならまちを維持・継続させるために、狭い道路が多いために、車の通行を制限し、安心して歩ける町づくりをすべきである。特に元興寺周辺は駐停車禁止にするとよい。
- ・高齢者の町となってしまったわが町では、若年齢の方々を待っているが、不在住宅を利用できないか思索している。
- ・人々は奈良に何を求めて来るかを考えるべき。どこにでもあるような観光地（目先の利益にとらわれた）にすれば、一時は騒がれても、長い目で見れば飽きられてしまうのではないか。観光客を大切にするのは良いが迎合すべきではない。
- ・一年中、朝から晩まで多数の観光客がうろうろ歩き回り、埃っぽい街が、果たして奈良町であり奈良町の魅力と言えるのか？奈良町という言葉だけが一人歩きし、安っぽい商業施設が雨後の筍のごとく乱立することが魅力的な町だろうか？なぜ偉大な田舎ではいけないのか？哲学なく観光行政だけが一人歩きの感がある。
- ・奈良町全体ではなく、地域、町を絞り、それぞれの町の特性を活かすべき。
- ・文化＝経済＝お金という考えは捨てて欲しい。歴史文化的に意味のないイベントは新たに作る必要はない。
- ・現在は奈良町を中心に考えているが、新薬師寺近辺も旧柳生街道入口、春日大社南参道入口等へのアクセスを、奈良町から繋げていくことも検討していただきたい。
- ・木曽の奈良井宿の町並みを見たとき、奈良町は普通の町並みだと感じた。やるならそこまで徹底すべきだと思う。
- ・東向商店街、餅飯殿商店街の道路は、商品が展示されて歩き難く、危険である。行政として、毅然とした対応を希望する。道路占有料や使用料等を徴収されてはどうか。
- ・みんなが誇りをもって自慢できるまち
- ・伝統的な町家を守り、おもてなしの産業を拡充し、観光客のリピーターを増やしていけるまちづくりをすべき。
- ・行事の参加の呼びかけがあれば良い。「奈良町」とは何かと言う人もいた。
- ・なぜ泊まりたいと思われないかを考えなければならない。日常にない環境でなければ泊まる気にならない。夕暮れにそぞろ歩きしたくなるような町づくり（五重塔や興福寺あたりではなくて商店街を面的に）。着物などを着て雰囲気のある町づくりが大切であるが、現状は着物を着ても、自動車の雑踏を歩いているため気の毒に思える。猿沢池を見ながら弁当を食べている外国人の脇を猛スピードの車が通ることもどうかと思う。また、猿沢池は、猛暑のなかでの通行人への配慮もなく、清涼感がない。昔ながらの理屈で、濁っていることが観光資源であると思うのはおかしい。浮見堂も同様であり、水に力を入れて、清涼にすべき。
- ・「くらし」「なりわい」「たたずまい」のバランスのとれた町を目指す。
- ・京終駅付近の活性化に力を入れて欲しい。観光スポットになるような場所を、今以上につくる方が良いと思う。
- ・他府県から来られた観光客が、心休まるような地にしてもらいたい。また、地元の人たちが誇りに思えるようなまちづくりを願う。
- ・観光も大切だが、まずはそこで生活する人々があつてのこと。観光のために何かを作るのではなく、既にあるものを活かし、いかに使うかが大切であると思う。店舗と住民の交流がないため、コミュニケーションをもっととった方が良いと思う。
- ・商業地でのシャッター通りが多く目立ってきた（餅飯殿、下御門）ので活性化。外国人観光客が宿泊できる施設を増設（ビジネスクラス客室）など。
- ・高齢者が多いため、健康生活を維持し、生きがいのある友人作りをすることにより、過ごしやすい環境がで

きるのではないかと思います。公民館や地域の施設を開放して、簡単にできるスポーツをする場を作ってもらえると良いと思う。

- ・道路の整備、車の規制により人が安心して歩ける町づくり、若者と子どもの増加に伴う活気のある町づくり
- ・居住者（住民）と観光客の融和及び空き家・空き地の活用
- ・奈良町全体としては、町家を活かした奈良町らしい店を増やし、おもてなしの商業環境をつくり、外国人観光客等の多様なニーズに応えられるまちづくりを目指すべきだと思う。
- ・年々住民が減って空き家が増えているので、若い人たちが住みやすい環境を作っていくことが重要であると思われる。
- ・春日大社のおん祭りや御霊神社秋季例大祭、率川神社の百合祭りなど、奈良町には歴史と文化に支えられた格調高い行事が多く引き継がれている。これらの情報を上手に国内外に発信し、観光客を町家の宿泊施設に泊まりたいと思えるような施策が必要である。古都祝奈良スタンプラリーも面白い企画だったが、これを伝統行事に結びつけた方が良いと思う。（ラリーを実施した部署とにぎわい課との連携があったのかどうか）宿泊施設が少ないと聞いている。宿泊できる町家を増やす必要がある。経済特区に指定してもらうなど、うるさい規制を外してもらうこともあっても良い。市として発信力を高めて欲しい。このようなアンケート調査を高齢者が多い自治会長だけでなく、奈良町についてある程度分かっている若い年代層にも行うべきである。
- ・歴史文化の担い手を育てるための教育機関が必要と思う。
- ・新旧住民の調和、自治会活動への参加、若年層が減っている。
- ・各町内で空き家が目立つ。空き家の売却後、ワンルームマンション等の建設が目立つ。景観保護が求められる。また住民との接点がなくなり、人と人のつながりがなくなるため、できる限りマンション建設には注意を払って欲しい。
- ・商業上、行政上大切な事とは思いますが、生まれも育ちも奈良町の者からすると、今の奈良町は嫌いである。落ち着いた静かな町が、今ではやかましい、雑然としたまちになりつつある。
- ・昔の外観を残し、当時の生活を体験できる（当時の服を身に着け、当時の食事を味わい、習慣等）、若者たちに現在の生活と比べ、実際に体験できると良いのではないかと。インターネットで世界に発信して、外国人や若者にも来てもらうように。
- ・夜間が寂しすぎる。せめて 21 時頃まではにぎわいが欲しい。
- ・安全・安心のまち、観光地に近いが、集合住宅なので、不審な車や人物の出入りが気になる。入り込むことはめったにないが、以前、色々なものがなくなったことはある。
- ・多くの人が訪れるというより、奈良の良さ（静かで、整備されて、歴史が理解し易い等）をよく理解した人が訪れる町であって欲しい。（多くの人を呼び込むことが良いとは思わない）観光を謳うのであれば、奈良町の交通渋滞解消を優先すべき。
- ・伝統的なものだけに頼らず、何か新しい発想のものを生み出すべきだと思う。
- ・奈良を訪れた観光客が、何度も来たいと思える魅力的な町づくりをする。
- ・まずは古都保存法を見直しすべきである。悪法でがんじがらめになっており、なかなか新しいことに取組もうとしても動きづらい状況だと思う。もう一つは、行政があまりタッチしないことであり、金を出して物は言わないことが大切。
- ・古都奈良にふさわしい歴史文化の魅力を掘り起こし、多方面に発信して、奈良町ファンをつくること
- ・奈良は古代や近代に大きく光輝いただけでなく、それをつなぐ中世においても栄えた所である。その中世の奈良町は、東大寺や興福寺をはじめとする社寺のまわりに生まれた郷が成長して発達したものであり、奈良町は三条通を境に北を北郷、南を南郷と呼んでいた。そうした町の歴史こそが魅力であり、お金で入手することができない財産である。それをもっと大切にすべきである。「ならまち」や「きたまち」などと勝手なことを言って、町の歴史を分からなくしてはならない。転害門横の観光案内所は、奈良町北観光案内所に改称すべきである。
- ・奈良町に訪問した観光客が、古社寺と共存する町家に触れ、感動し、再訪を思う雰囲気作りが大切である。残念ながら、現在の「きたまち」は行政と住民の感覚がバラバラである。
- ・交通渋滞が酷く、人力車・歩行者が危険だと感じる場面が多々ある。道路（車専用、歩行者専用）の整備や車両乗り入れ禁止区域などの整備が必要。
- ・奈良町境界は整備され、日帰り観光や宿泊客等によるにぎわいがある。一方きたまちでは、散策するに有名な寺院等が多いが、観光客等はその寺院等を目的にのみ観光しているように思う。観光客をきたまち境界まで取り込むための案内パンフや案内看板、観光ルート、駐車場の増設、宿泊所の増床等々を強力に推進していかなければ、少子高齢化の時代ににぎわいと活気あふれるまちづくりは難しい。古民家・空き家の再利用、移住の促進（税の優遇策等）による住民の増加もまちづくりの一案ではないかと思う。近鉄奈良駅から東大寺方面にかけては、昼間は観光客等でにぎわっているが、夜になると宿泊客等の散策している様子はうかがえない。それは宿泊客の楽しみや癒しの場、夜の観光スポットが充実していないためではないか。東の方へ行く街灯はあるが、暗くて行く気にもならないと思う。新大宮通りのイルミネーションを参考にしているのか。観光スポットの一つになるし、宿泊客を東に誘導できれば、飲食店や土産物屋もうるおい、賑わいも期待できると思う。
- ・安全な道路整備、案内地図看板の設置
- ・古い空き家対策と、古民家再生による若い世代の移住

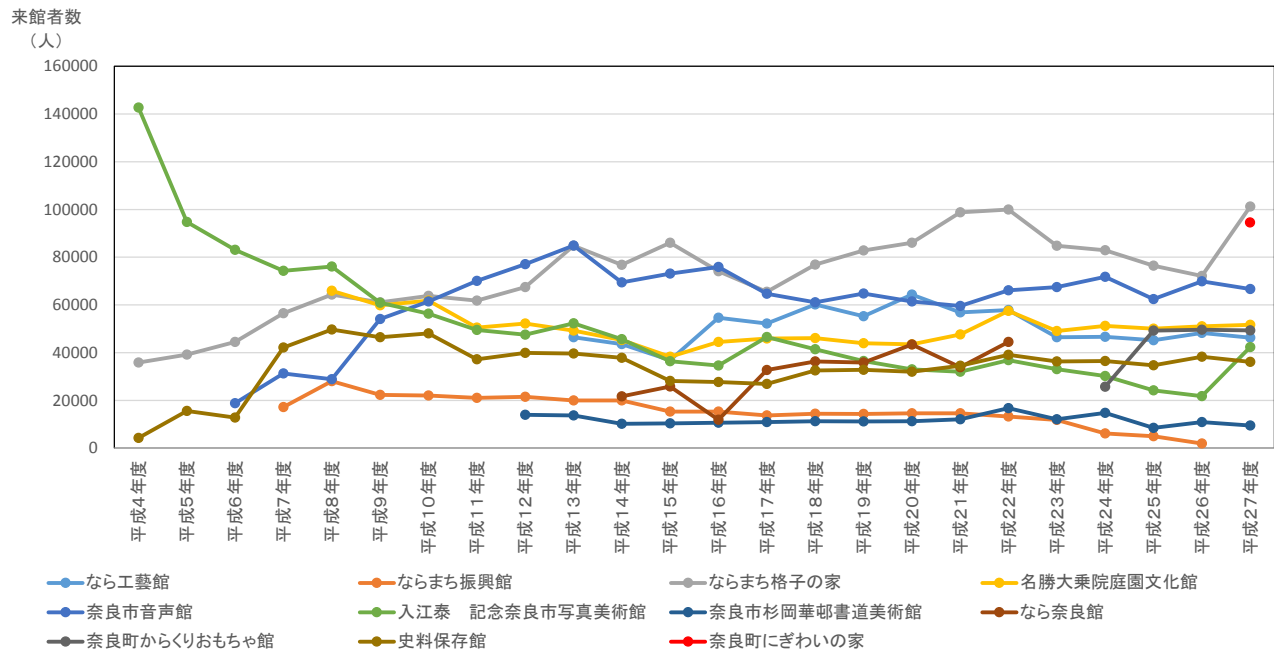
- ・市民が住みよい街、他府県の方々にまた訪れたいと思ってもらえる町。（電柱を地下に埋める、家の高さをそろえる、同じような土産物屋にならない等）
- ・地域住民の意識を高め、心、物ともに誇れる環境を育てる。
- ・人にやさしい町、住みやすい町、子供の声が常に聞こえる町。
- ・きたまちに住んでいるが、これ以上観光地化されたくない。外の人が沢山入ると、騒音・治安の悪化が心配。女子大もあるため。今までどおり、ならまちは商業地、きたまちは住宅・文教地区で良い。
- ・奈良きたまちは散策する観光客が増える中、今の環境を守りつつ、町民がわが町を自慢できるような案内役を育てたい。そのためには住民教育の立場から、案内板の整備をしてほしい。
- ・高齢者、子供たちが安心・安全に暮らせる環境、弱者にやさしい街づくりを目指すべきと思っている。
- ・地域産業を活性化して、若い世代に定住してもらうこと
- ・住民同士や町内に来られる方とのつながりを大切にし、地域に残っている祭りや行事を大切に後世に残せるようにしたい。
- ・古都にふさわしい町の景観を復興すること。「奈良町」区域においては、広告などの禁止も必要と思う。電柱の除去（地中化）も重要課題である。まずは三条通から実行すべき。
- ・町並みの整備が最も重要。派手な広告を規制する、道路の整備が必要。町の入り口に町の歴史を記した案内板が必要。
- ・奈良市として空き家対策に取り組むことが大切であると思う。
- ・人と人との関わりを低下させる建物（ワンルームマンション又は小中規模ハイツ）の増加に歯止めをかけるべきと考える。自治会内部を破壊している要因になっていることを危惧する。
- ・奈良に入れば、他にない独特の雰囲気味わえる町づくりを希望する。
- ・街路（特に一条通）を整備し、安全で景観に優れた通りやすい歩行者最優先の歩道、世界に誇れるような歩道の整備を望む。蜘蛛の巣のような電線は最悪である。1にも2にも安全で平和な伝統の地・奈良を世界に紹介し、見学に来訪されるよう行動すべきと考える。1300年継続している平和な地域を世界に紹介し、世界に誇る平和文化を積極的に紹介すべき。
- ・文化と歴史を大切にし、奈良らしいまちづくりが必要である。地域によっては商業環境の充実に努める必要がある。
- ・もともと奈良町以外のところから来られた方が住民であり、マンションなので安全、防災、防犯の課題がどうしても最優先である。
- ・観光客は女性が多いため、女性に優しい環境（例えばトイレの数を女性と男性の比率を2:1にするなど）をつくってもらいたい。昭和57年に奈良町の調査をされてから、34年を経て、色々な施設が経ち、町家が整備され、訪れる人も増えるとともに、色々な店もできて相乗効果によって町が良くなっていると思う。
- ・観光客を呼ぶ町にするのならば、奈良町をもっと狭い区域に限定して、重点的に観光用の町にした方が良いと思う。
- ・古都「奈良町」は奈良の中心であり、寺社、公園に囲まれた環境、風情、景観のある特徴ある町並みをつくる必要がある。
- ・人は時間が作るものに回帰すると思う。短絡的でなく、長期的に考えて魅力をつくっていくべきである。奈良町という名前に魅力を感じる人もいるが、そもそも奈良町とは何かを掘り下げる必要がある。
- ・外京である奈良町も個々の地区によって特性が異なる。全体として外から訪れたい魅力を維持・発展させることは必要だが、何でもかんでも「にぎわい」という言葉をかぶせるのはいかなものかと思う。大いに問題があると思う。
- ・住民が住み易く、若者と老人が共存できる活気にあふれた町にしていくことが重要である。伝統文化が日常の中にある誇れる奈良町にしていきたい。生活必需品の店舗が減少して、以前より不便になった。観光も重要だが、住む人をもっと主体にしてまちづくりを考えなければ良い町にはならない。
- ・時代に流されないまちづくり
- ・構想の対象区域があまりにも範囲が広く、まとまりがつかないような感じがする。滋賀県の長浜ぐらいの町並みの広さが歩いても疲れないが、奈良町の構想範囲は見ただけで疲れる。元興寺周辺は小物雑貨類のお店や趣のある喫茶、食事のお店が増えて、町並みも変わりつつあるように感じられる（良い悪いは別として）
- ・もっと他にすることが沢山あるはずである。
- ・「奈良町」をあまり広げて欲しくない。当町を「奈良町」に組み込まれるのには抵抗がある。「観光」の対象にされたくない。
- ・昔ながらの町家を残しつつ、新しいショップ等が入ったらよいと思う。
- ・振興と保全のバランスが大切である。
- ・古民家があったら、それを活かせるようなまちづくり
- ・多くの国内外からの観光客を受け入れられる町になると良い。
- ・ご近所さんと仲良く暮らせるまちづくり
- ・奈良町の特徴が足りない。スケールが小さい。この状態では先細りにならないか？もっと他地域にはない珍しい、ネットでじゃんじゃん飛び交うような話題になるようなものがないと、今後ダメになる。今やっておられることは甘い。私は反対者ではない。もっと考えよう。
- ・県も市も外に向けて考えたりお金を使っているように思う。外から来てもらうためのイベントばかりである。奈良がもっている歴史や文化がどれだけの財産であり、宝であるか分かっているのかと思うことがある。そ

れを守り、継承していくことが我々の責務であると思う。そしてそれに伴うことに興味をもち、見に来ていただくことが本来の観光だと思う。外の人に興味をもってもらうためのイベントやまちづくりをしてもやっつけでしかない。10年、20年、100年、1000年先まで愛され、人が集まる街にするには、住人が自分たちの地域のために、自分たちで盛り上げることが一番である。「まち」は「ひと」がつくるものである。「ならまち」とは何か、さらに「新奈良町」とは何か。何のために新しくするのかを明確にして欲しい。ほったらかしにしているのがもったいない、お金になるのに、では困る。同じようなカフェや雑貨店が増えることなのかどうか。課まであるので、期待している。

- ・観光の町としての発展。世代交代時の過疎化を防ぐため、まちを支える若・壮年層の流入を見据えたまちづくり。
- ・にぎわい構想の対象区域が広すぎないか。もっと拠点を絞ることが必要とを感じる。
- ・歴史文化の担い手を育成し、特技を育て、市や町、店が工芸的な観光客も学べるようにする。京都よりも奈良が好きな人ばかり来てくれるように、今まで以上に観光客を増やす努力をすべき。そのためには、奈良も商売上手になるための勉強が必要である。奈良は暗い。夜の街の魅力がないイメージが強い。京都に比べて若者のセンスがない。古く、守りばかりでは繁栄しない。

資料 4. 観光関連の公共施設の入館者数

■ 観光関連の公共施設

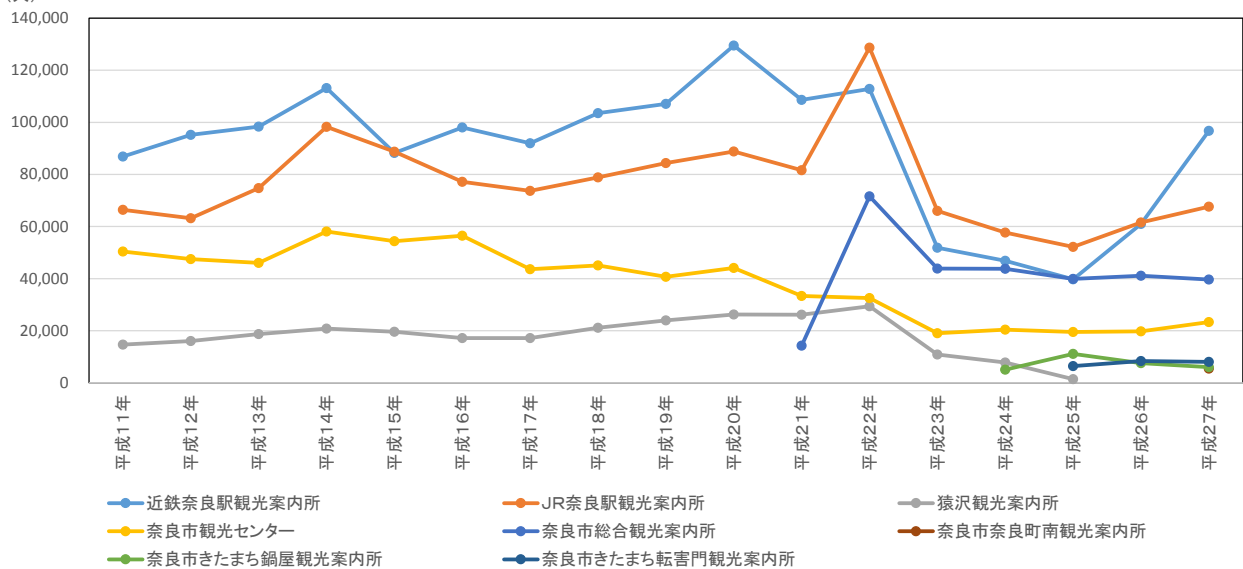


施設名	平成4年度	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
なら工芸館										46,447	43,618	36,891
ならまち振興館				17,195	28,090	22,347	22,036	21,017	21,506	20,012	19,940	15,349
ならまち格子の家	35,910	39,185	44,466	56,557	64,328	61,135	63,778	61,778	67,455	84,815	76,801	86,039
名勝大乗院庭園文化館					65,963	59,819	61,792	50,501	52,217	49,215	45,263	38,300
奈良市音声館			18,801	31,273	28,884	54,101	61,481	70,032	77,087	84,865	69,418	73,137
入江泰吉記念奈良市写真美術館	142,675	94,755	83,087	74,274	76,083	60,877	56,371	49,543	47,572	52,317	45,653	36,374
奈良市杉岡華邨書道美術館									13,923	13,696	10,209	10,326
なら奈良館											21,668	25,769
奈良町からくりおもちゃ館												
史料保存館	4,221	15,567	12,785	42,179	49,668	46,440	48,033	37,171	39,945	39,667	37,850	28,124
奈良町にぎわいの家												

施設名	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
なら工芸館	54,633	52,242	60,242	55,269	64,322	56,907	57,909	46,476	46,671	45,192	48,269	46,305
ならまち振興館	15,317	13,711	14,392	14,343	14,587	14,629	13,244	11,821	6,161	4,985	1,945	
ならまち格子の家	74,154	65,495	76,856	82,846	86,067	98,824	100,014	84,776	82,914	76,490	72,129	101,259
名勝大乗院庭園文化館	44,515	45,898	46,103	43,953	43,539	47,643	57,473	49,094	51,201	50,050	51,023	51,702
奈良市音声館	75,931	64,662	61,096	64,766	61,481	59,555	66,141	67,455	71,754	62,446	69,895	66,654
入江泰吉記念奈良市写真美術館	34,654	46,521	41,454	36,492	32,972	31,991	36,877	33,125	30,250	24,191	21,749	42,309
奈良市杉岡華邨書道美術館	10,635	10,867	11,262	11,135	11,294	12,059	16,773	12,059	14,798	8,505	10,884	9,459
なら奈良館	11,874	32,727	36,341	35,854	43,379	33,886	44,500					
奈良町からくりおもちゃ館									25,697	49,217	49,622	49,295
史料保存館	27,661	26,902	32,514	32,777	31,994	34,529	39,112	36,308	36,500	34,703	38,333	36,169
奈良町にぎわいの家												94,515

■ 観光案内所

利用者数
(人)



施設名	平成 11 年	平成 12 年	平成 13 年	平成 14 年	平成 15 年	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年
近鉄奈良駅観光案内所	86,907	95,204	98,334	113,136	88,284	98,021	91,993	103,502	107,132
JR奈良駅観光案内所	66,409	63,225	74,780	98,315	88,705	77,218	73,720	78,885	84,397
猿沢観光案内所	14,642	16,038	18,732	20,809	19,617	17,159	17,217	21,143	23,946
奈良市観光センター	50,433	47,508	46,037	58,093	54,410	56,484	43,606	45,095	40,690
奈良市総合観光案内所									
奈良市奈良町南観光案内所									
奈良市きたまち鍋屋観光案内所									
奈良市きたまち転害門観光案内所									

施設名	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
近鉄奈良駅観光案内所	129,531	108,650	112,802	51,897	46,856	39,741	60,985	96,740
JR奈良駅観光案内所	88,833	81,646	128,694	65,994	57,665	52,195	61,610	67,623
猿沢観光案内所	26,206	26,169	29,408	10,882	7,834	1,407		
奈良市観光センター	44,122	33,336	32,508	19,044	20,397	19,486	19,737	23,311
奈良市総合観光案内所		14,254	71,584	43,837	43,820	39,897	41,094	39,692
奈良市奈良町南観光案内所								5,481
奈良市きたまち鍋屋観光案内所					5,017	11,118	7,556	5,988
奈良市きたまち転害門観光案内所						6,406	8,384	8,007

資料 5. 奈良市の主な奈良町関連政策・施策

(ゴシック体：奈良市総合計画に位置付けられている施策)

担当部署	担当課名	政策・施策名
観光経済部	奈良町にぎわい課	・新奈良町にぎわい構想（平成 26 年 4 月～） ・奈良町おもてなし戦略（平成 27 年 3 月～） ・奈良市ならまち格子の家（平成 4 年 4 月開館） ・奈良市転害門前観光駐車場（平成 12 年開設） ・奈良市きたまち鍋屋観光案内所（平成 24 年 7 月開所） ・奈良市きたまち転害門観光案内所（平成 25 年 5 月開所） ・奈良町からくりおもちゃ館（平成 24 年 4 月開館） ・奈良町にぎわいの家（平成 27 年 4 月開館） ・奈良市奈良町南観光案内所（平成 27 年 11 月開所） ・奈良市奈良町南観光駐車場（平成 27 年 11 月開設） ・ならまち町家バンク（平成 23 年度開始） ※平成 28 年度から奈良市空き家・奈良町町家バンクに制度移行（奈良町町家バンクを担当） ・きたまちまちかど博物館（平成 15 年 11 月開館） ・ならまちまちかど博物館（平成 22 年 3 月開館） ・奈良市都市景観形成地区建造物保存整備費補助金（平成 6 年度～） ・奈良市歴史的風致形成建造物保存整備事業補助金（平成 27 年度～）
	観光戦略課	・奈良市観光交流推進計画（平成 22 年 2 月策定）
	商工労政課	・なら工芸館（平成 12 年開館） ・きらっ都・奈良（起業家支援施設）
総合政策部	総合政策課	・奈良市国家戦略特区への提案「奈良町にぎわい特区～日本で最も古い市街地からのイノベーションモデルケース～」（平成 25 年 9 月 2 日提出） ・奈良市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成 27 年 10 月策定） ・総合計画（第 4 次総合計画：平成 23 年度～平成 32 年度）
	奈良ブランド推進課	・空き家総合対策（奈良市空き家バンク）（平成 27 年 11 月～）
都市整備部	景観課	・奈良市歴史的風致維持向上計画（平成 27 年 2 月認定） ・奈良市景観計画（平成 22 年 4 月策定）
建設部	街路課	・市道猿沢線拡幅事業（鶴福院町）（平成 28 年 3 月白紙撤回の方針を示す）
市民活動部	協働推進課	・奈良市市民参画及び協働によるまちづくり条例（平成 21 年 7 月施行） ・地域自治協議会
	地域活動推進課	・地域活動推進係（自治会等）
	文化振興課	・創造都市ネットワーク日本に加盟（平成 26 年 1 月 28 日） ・奈良市ならまちセンター（平成元年開館。平成 28 年度改修） ・入江泰吉記念奈良市写真美術館（平成 4 年開館） ・奈良市音声館（平成 6 年開館） ・奈良市名勝大乘院庭園文化館（平成 8 年開館） ・奈良市杉岡華邨書道美術館（平成 12 年開館） ・入江泰吉旧居（平成 27 年 3 月開館）
教育委員会	文化財課	・史料保存館